

第3章 用途別実態把握及び分析・比較

※第3章に掲載している施設概要、建物状況、利用状況、コスト状況については、平成24年度末時点のデータを基に分析しています。

第3章 用途別実態把握及び分析・比較

《地域実態マップ》

地域実態マップ

延床面積
88.4万㎡
公共施設1人当たり
4.3㎡/人

人口変化率(H25→H47)			
10 宍道町	9 玉湯町	8 八雲町	
4.9万㎡保有建物 (5.4%)延床面積 22%減	3.1万㎡保有建物 (3.5%)延床面積 17%減	3.5万㎡保有建物 (3.8%)延床面積 22%減	
人口 9,221人	人口 6,420人	人口 6,965人	
<p>県有施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ホール系 スポーツ 県営住宅 			
<p>広域施設</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント施設 観光レジャー保養 美術館・博物館 			
<p>市域施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所 支所(8) 文化ホール・勤労会館(3) 交流イベント施設(10) 図書館(3) 民俗資料館 総合保健・福祉センター 観光施設(市民向け施設)温泉・保養施設 総合屋外運動施設 総合体育館等 			
<p>生活圏対応施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館(34) 中学校(16) 小学校(34) 幼稚園(公)(29) 保育園(公)(14) 児童館 児童クラブ 公営住宅(49) 診療所 障がい者施設 人権・交流施設 地域運動施設 			
<p>コミュニティ対応施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業支援施設 高齢者施設 地区公民館等(8) 集会所(57) 			

1. 市民文化系施設

(1) 文化ホール・交流・イベント施設

①施設概要

ホールを含む施設及び交流・イベント等の利用を目的とした施設は13施設となっています。固定席のホールや、稼動式・移動席の多目的ホール等、規模・形態も多様な施設が存在しています。

No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	ホール(席数)		併設機能										
					メインホール	サブホール	会議室・研修室	和室	音楽室	視聴覚室	調理室	工房	図書・資料室	展示スペース	その他 (併設施設等)		
1	松江市総合文化センター	橋南	7,606.67	S60年	●(808席)	●(80席)	●			●					●		中央図書館
2	鹿島文化ホール	鹿島	1,366.00	H1年	●(272席)		●										
3	八雲林間劇場	八雲	418.26	H7年	●(108席)												
4	松江市市民活動センター	橋南	9,121.74	H3年	●(203席)		●	●	●		●				●		
5	国際交流会館	橋北	2,058.52	H4年	●(143席、シアター)		●	●	●	●	●	●					
6	出雲かんべの里	橋南	1,464.00	H6年			●	●		●		●					
7	鹿島野外音楽堂	鹿島	244.32	H10年	●(野外約1000名)												
8	マリンプラザ	島根	958.30	H10年	●(多目的スペース)					●					●		
9	ギャラリーC	宍道	311.18	H6年	●(約100名)		●			●							
10	八雲かやぶき交流館	八雲	202.34	H12年					●								
11	日吉ふれあい会館	八雲	618.00	H5年	●(多目的スペース)		●	●						●			
12	ふるさと館	八雲	175.28	H15年			●				●						
13	東出雲ふれあい会館	東出雲	1,755.53	S52年			●	●									東出雲図書館 楳屋公民館

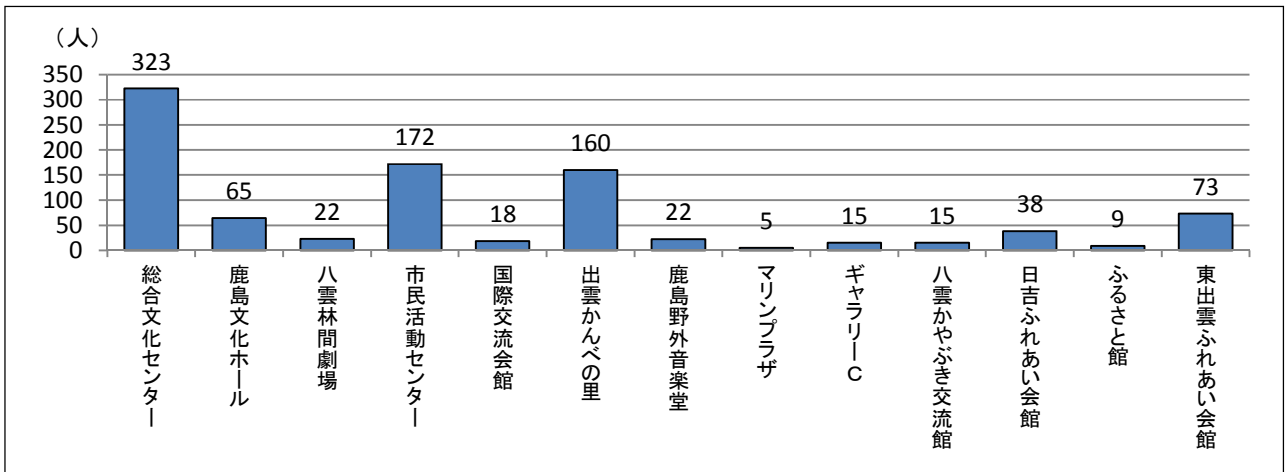
(参考)

松江市総合福祉センター	橋北	3,996.76	S60年	●(234席)		●											入浴施設
松江テルサ	橋南	7,487.22	H12年	●(580席)	●(160席、シアター)	●		●						●			プール・フィットネス
メテオプラザ	美保関	6,106.67	H7年	●(500席)													フェリーターミナル、ミュージアム、温浴施設
アルパホール	八雲	2,498.81	H6年	●(415席)		●											在宅介護支援、子育て支援センター他
島根県民会館	橋北	16,200.00	S41年	●(1,619席)	●(576席)	●	●							●			

②利用状況

1日当たり利用者数が、総合文化センターのように300人を超える施設から、10人に満たない施設まで存在しています。

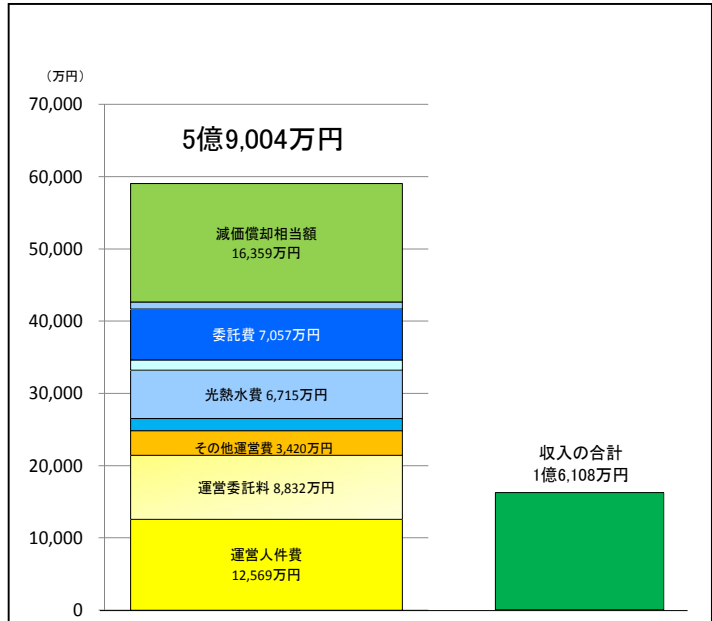
図表 1日当たり利用者数



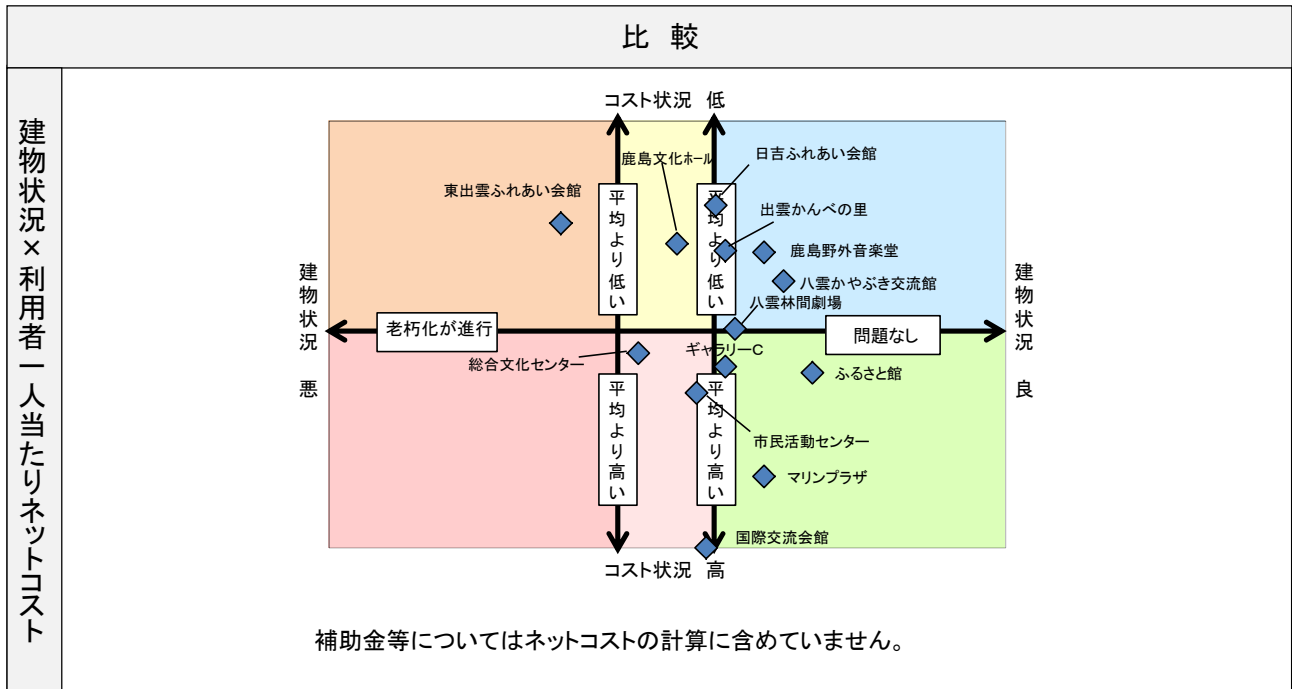
③コスト状況

年間トータルコストは、5億9,004万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億7,824万円、事業運営にかかるコストは2億4,821万円、減価償却費相当額は1億6,359万円となっています。一方、収入は、1億6,108万円であり、4億2,896万円の財政負担が生じています。利用者1人当たりのコストは、収入を除くネットコストで平均1,425円となっていますが、それを大幅に上回る施設が存在しています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用者アンケートから、鹿島文化ホール（81%）、ギャラリーC（85%）、東出雲ふれあい会館（77%）では、地元利用の割合が高くなっている。
- 現状、建築後20年を超えている施設が多く、今後大規模改修等が必要な施設が増加する。

(2) 公民館

①施設概要

公民館は、地域における生涯学習、社会教育、防犯・防災、福祉、環境など様々な活動の拠点となっています。さらに、災害時の避難場所や集結場所などにも指定されており重要な施設となっています。また、旧松江市の公民館は、当初は市の直営であったが市の財政事情等により、昭和41年から各地区の自主的な運営に委ねる公設自主運営方式に順次移行していきました。その後、地方自治法の改正に伴い、平成18年9月から指定管理者制度を導入しています。なお、旧八束郡の公民館についても、順次、公設自主運営方式へ移行しています。市内の各公民館が一体となって市民協働のまちづくりを推進するため、旧市町村の枠を超えて、市内を5つの公民館ブロックに編成しています。

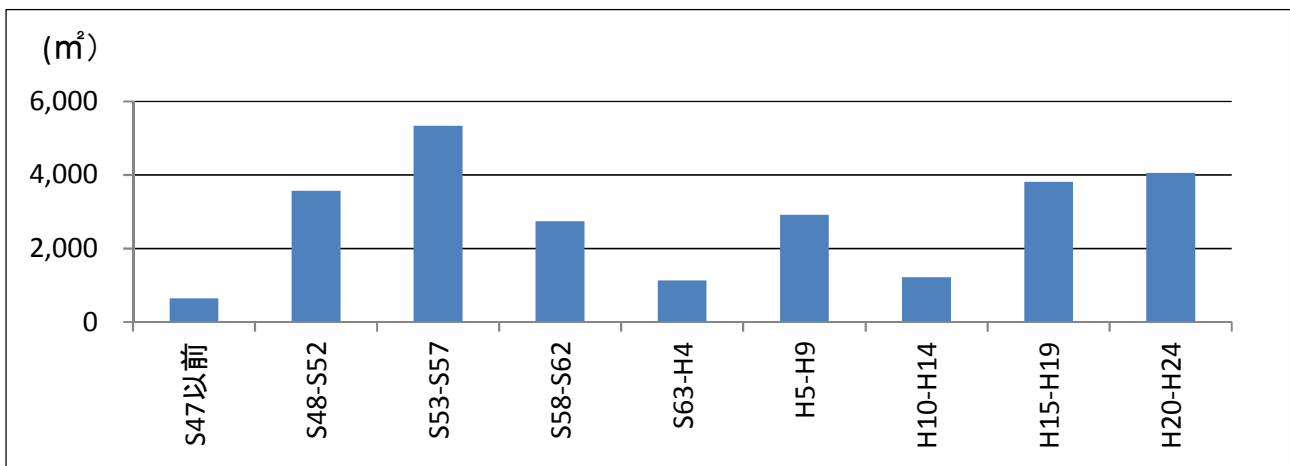
ブロック名	施設数	施設名
松東ブロック	7	朝酌公民館、本庄公民館、持田公民館、川津公民館、島根公民館、美保関公民館、八束公民館
中央ブロック	6	城北公民館、城西公民館、城東公民館、朝日公民館、白濁公民館、雑賀公民館
松北ブロック	9	法吉公民館、生馬公民館、古江公民館、秋鹿公民館、大野公民館、恵曇公民館、講武公民館、御津公民館、佐太公民館
松南ブロック	8	竹矢公民館、津田公民館、大庭公民館、古志原公民館、八雲公民館、意東公民館、上意東公民館、出雲郷公民館
湖南ブロック	4	乃木公民館、忌部公民館、宍道公民館、玉湯公民館

旧八束郡においては、平成19年5月の「新松江市における公民館制度最終答申」における旧町村において、各1館の設置とするの方針に基づき取り組んでいます。また、平成24年6月に「支所と公民館のあり方」の報告書において、施設の複合化も含めた、支所機能と公民館との連携についての考えを公表し、八雲地域では、平成25年度に八雲公民館、八雲支所、アルバホールと一体となった複合施設を整備しました。宍道地域では、平成27年度中の完成を目指して複合施設の整備が進められています。

②建物状況

34館中11館（公民館総延床面積25,442.16㎡のうち9,549.53㎡（37.5%））が建築後30年を経過し、老朽化が進んでいます。

図表 建築年別延床面積

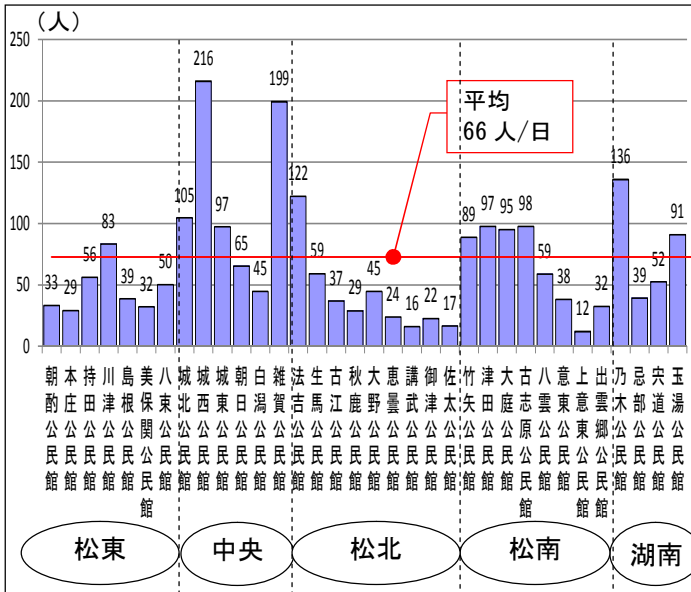


③利用状況及びコスト状況

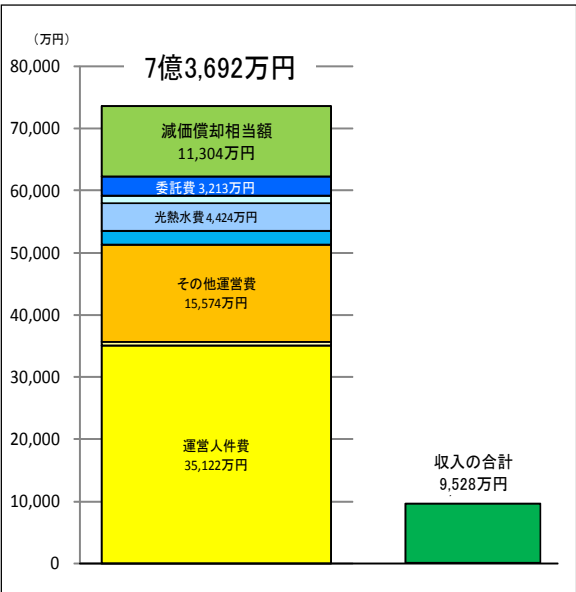
公民館ごとに利用頻度は大きく異なり、中央ブロックの公民館の利用頻度が高くなっています。

年間トータルコストは、7億3,692万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億1,012万円、事業運営にかかるコストは5億1,376万円、減価償却費相当額は1億1,304万円となっています。一方、収入は、9,528万円であり、6億4,164万円の財政負担が生じています。

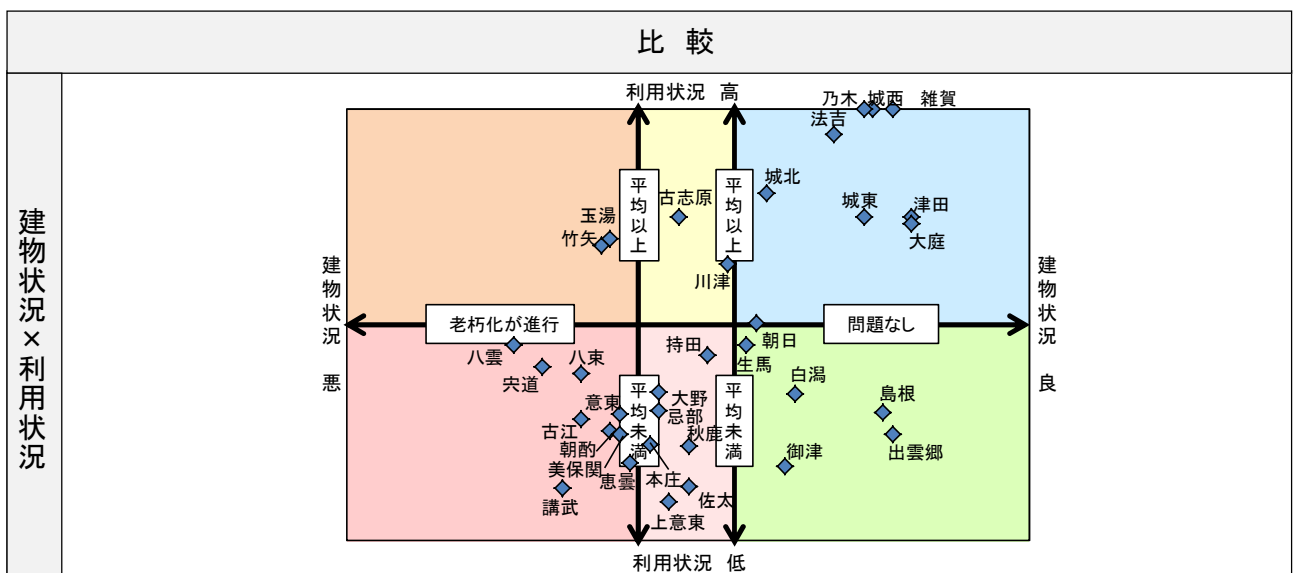
図表 1日当たり利用者数



図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用者アンケートでは、週1回以上利用する人の割合が43%で、また、地元地域の利用者が多くなっている。
- 新しい施設の方が、利用状況が良く、老朽化した施設は、利用状況が悪い傾向にある。

2. 社会教育系施設

(1) 博物館、名所・旧跡等

①施設概要

松江城天守をはじめ、旧松江市の城山公園周辺に点在する小泉八雲旧居、武家屋敷などは、建造物自体が、歴史や文化を伝える貴重な遺産です。また、これらの建造物と共に、松江歴史館は、松江藩政や城下町の形成、城下の人々の暮らし、藩財政を支えた産業などを紹介しています。

No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設概要	備考
1	松江城(城山公園)	橋北	2,668.71	K16年	慶長16年(1611)、松江開府の祖・堀尾吉晴が5年の歳月をかけて築城。全国に現存する12天守の一つで、城下町松江のシンボル	
2	小泉八雲記念館	橋北	173.72	S8年	松江を世界に紹介した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が愛用していた文机や直筆原稿などを展示している施設	昭和59年改築工事
3	武家屋敷	橋北	346.24	S44年	約275年前の松江藩中級藩士の屋敷で家具調度品、生活用具を展示している。主屋、門長屋、休憩所、便所からなる。	昭和57年大規模改修工事
4	松江市茶道文化施設	橋北	660.56	M38年	明々庵は、松江藩主・松平家7代 松平治郷(不昧公)の好みによって建てられた茶室。隣接する赤山茶道会館は、本格的な茶道稽古場	
5	小泉八雲旧居	橋北	0.00	不明	松江を世界に紹介した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が明治24年6月から5カ月間、セツ夫人と暮らした屋敷	昭和58年大規模改修工事 借受財産
6	興雲閣	橋北	1,112.94	M36年	明治36年に建設された擬洋風建築の迎賓館。昭和44年に島根県有形文化財に指定。現在、保存修理中で、平成27年10月開館予定	明治45年大規模改修工事
7	松江歴史館	橋北	4,203.56	H22年	城下町松江の歴史・文化を紹介する博物館(平成23年3月19日開館)。本館、復原長屋、長屋門、屋外トイレからなる。	

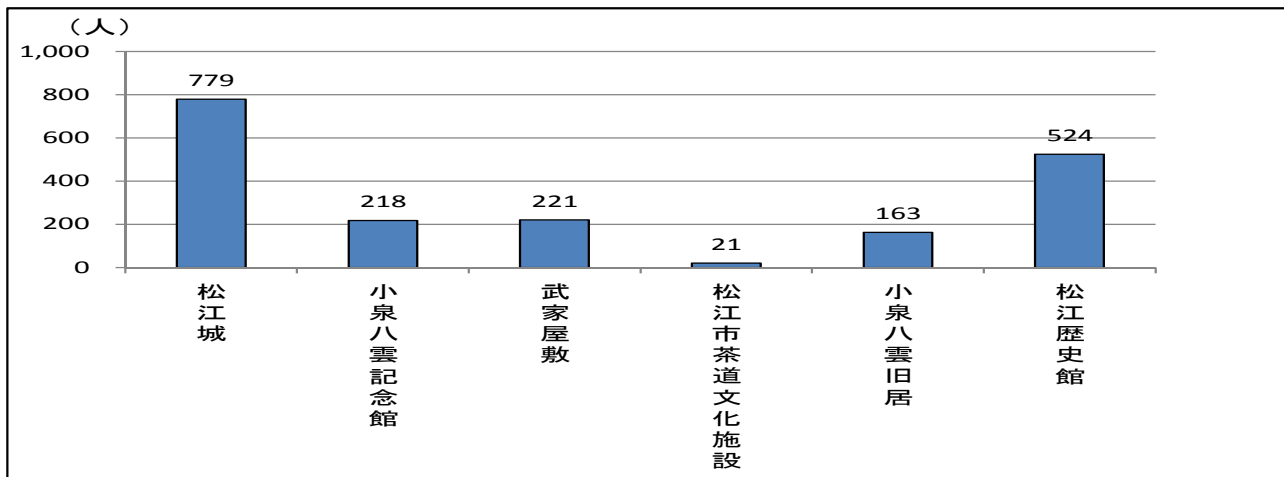
②建物状況

名所旧跡は、歴史的建物として建築後長い時間が経っています。一方、松江歴史館は平成22年に建築した新しい建物です。

③利用状況

現存する12天守の一つであり、城下町松江のシンボルとなっている松江城を中心に集客され、利用されています。

図表 1日当たり利用者数

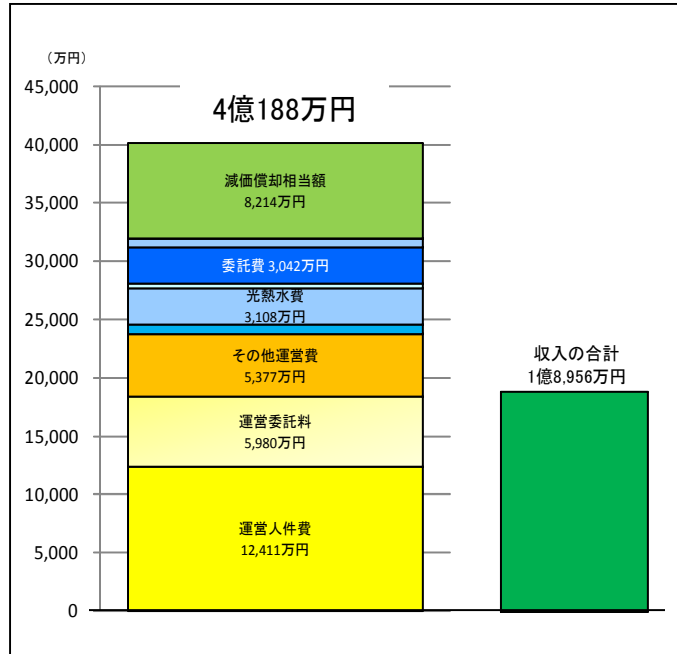


④コスト状況

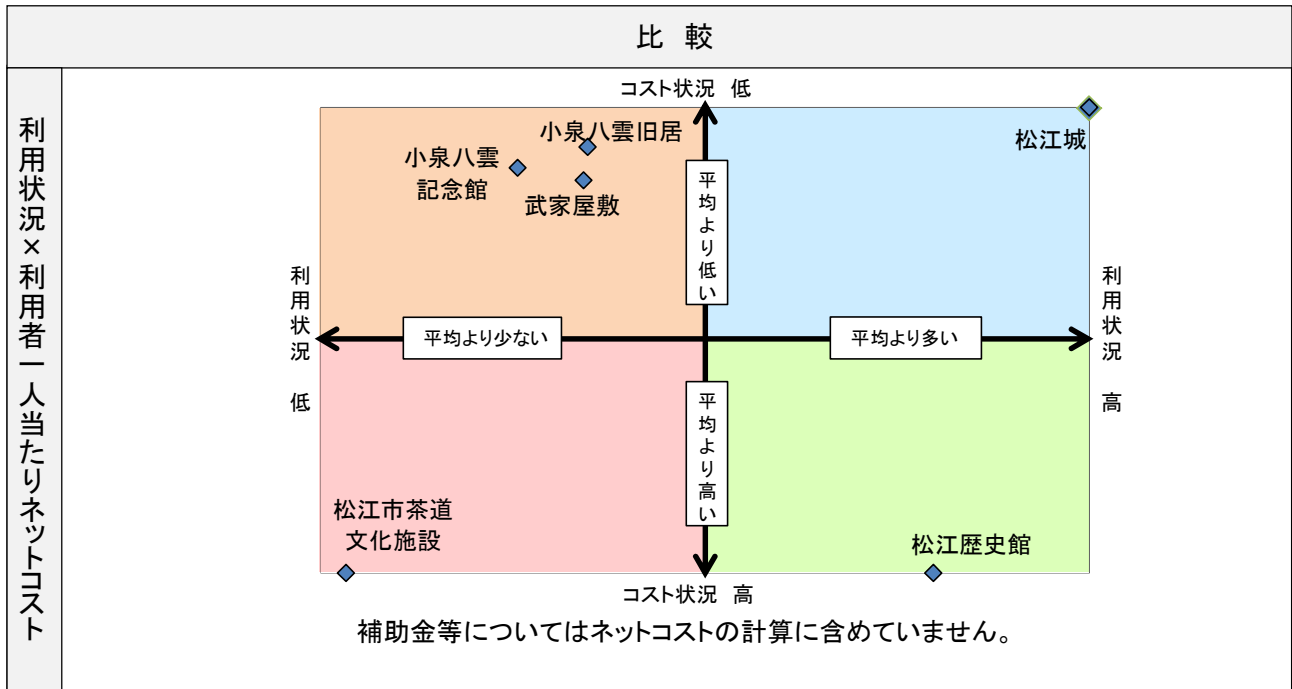
年間トータルコストは、4億188万円であり、そのうち施設にかかるコストは8,206万円、事業運営にかかるコストは2億3,768万円、減価償却費相当額は8,214万円となっています。一方、収入は、1億8,956万円であり、2億1,232万円の財政負担が生じています。

個別にみると松江城では、収入がトータルコストを589万円上回っています。一方、松江歴史館では、トータルコストから収入を除いたネットコストが1億9,039万円となっています。

図表 トータルコスト及び収入



⑤現状比較



⑥現状及び課題

- ▶ 松江歴史館は、松江城に次ぐ利用はあるがネットコストは、1億9,038万円となっており、他の施設と比較し大幅に高くなっている。

(2) 資料館

①施設概要

歴史、民俗等に関する資料を展示する施設となっています。また、海水で塩づくりや脱穀体験（千歯こき）、陶芸などの体験もできます。

No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設概要	備考
1	松江ホーランエンヤ伝承館	橋北	414.10	S55年	松江歴史館に隣接した資料館	平成23年大規模改修工事
2	美保関歴史・生活体験資料館	美保関	2,690.00	S63年	資料館	平成22年大規模改修工事
3	出雲玉作資料館	玉湯	402.39	S52年	勾玉、玉造に関する石材、資料展示	
4	八雲郷土文化保存伝習施設	八雲	541.52	S59年	民具展示施設(小林幸八展開催)	八雲公民館熊野分館
5	鹿島歴史民俗資料館	鹿島	505.00	S62年	土器展示、佐太神能関係資料、増田歩記念室等	
6	島根歴史民俗資料館	島根	278.40	S50年	収蔵施設	

※ 宍道菟古館は休館していたが、平成25年4月に再開している。

松江ホーランエンヤ伝承館及び美保関歴史・生活体験資料館以外の施設については、平成23年度に実施した公共施設の事務事業の見直しにおいて、一旦は「展示施設としては休止」を提案した経過があり、現在までに利用拡大に向けた取り組みを行ってきたところです。

②利用状況

資料館の1日当たり利用者数は、他の公共施設と比較して、極端に少なくなっています。全施設の年間利用者を合計しても、23,393人となっています。

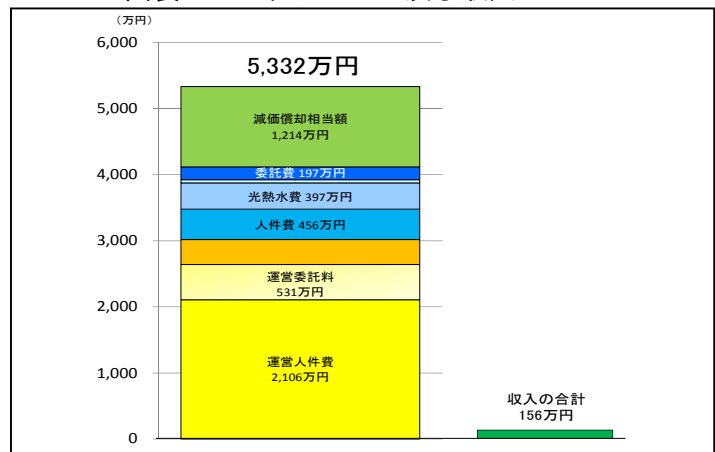
また、宍道菟古館と島根歴史民俗資料館は、希望があれば開館しています。

No.	施設名	年間利用実績 (人)
1	松江ホーランエンヤ伝承館	6,917
2	美保関歴史・生活体験資料館	871
3	出雲玉作資料館	8,437
4	八雲郷土文化保存伝習施設	5,231
5	鹿島歴史民俗資料館	1,937
6	島根歴史民俗資料館	-

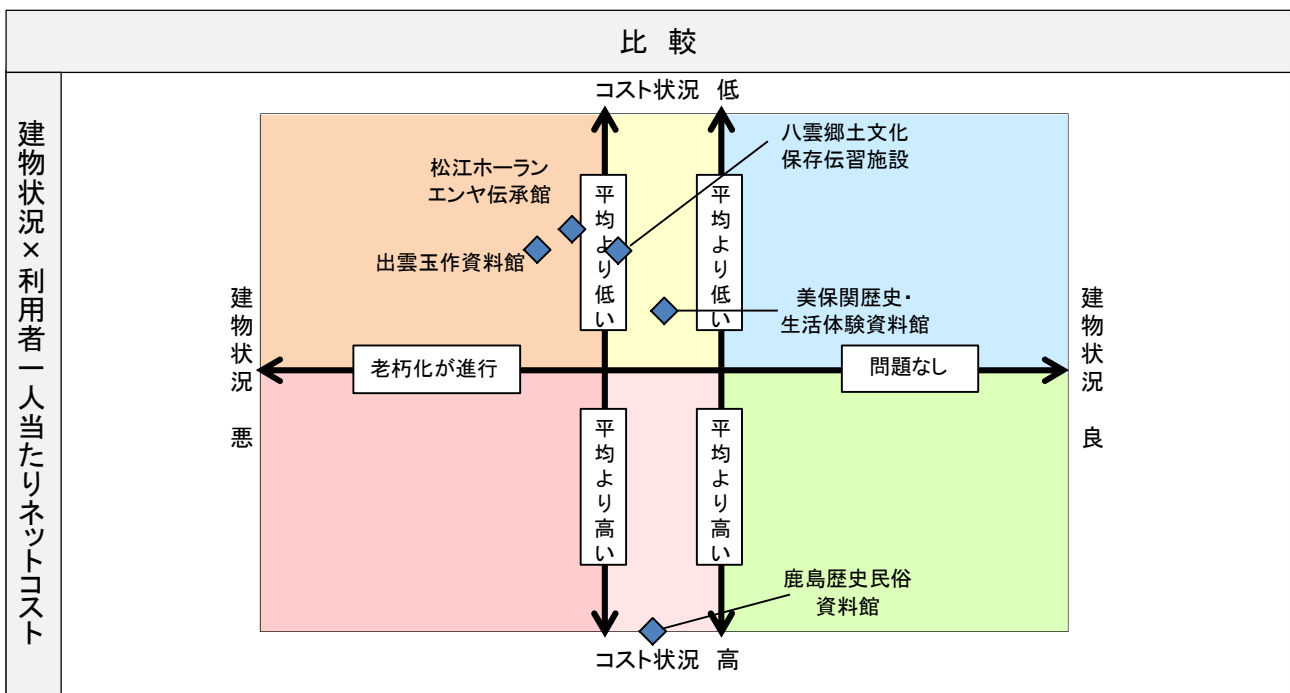
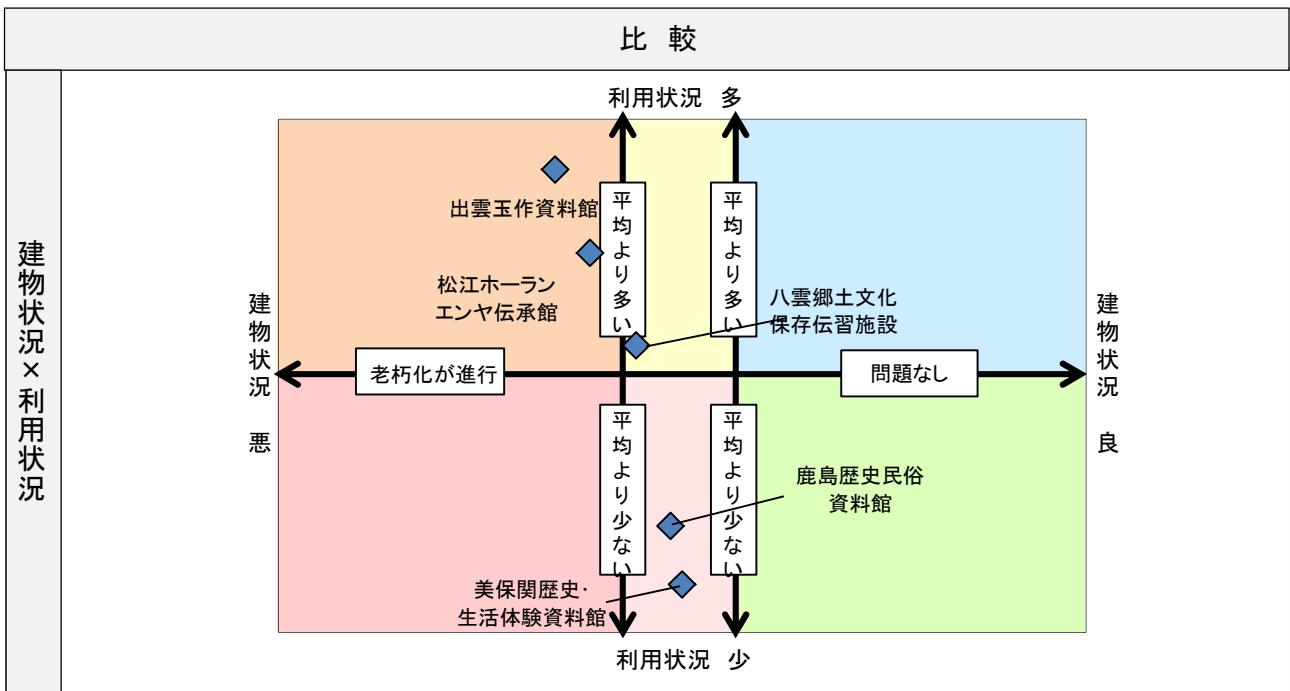
③コスト状況

年間トータルコストは、5,332万円であり、そのうち施設にかかるコストは1,099万円、事業運営にかかるコストは3,019万円、減価償却費相当額は1,214万円となっています。一方、収入は、156万円であり、5,176万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用者アンケートでは、市外の利用者が30%を超えている。
- 1日当たり平均利用者数が15人程度で他の施設と比較して、極端に少なくなっている。
- 老朽化が進んでいる施設が多い。

(3) 図書館

①施設概要

中央図書館は、松江市総合文化センター（プラバホール）内に、島根図書館は島根公民館に、東出雲図書館は東出雲ふれあい会館内に、それぞれ設置されており、すべて複合施設となっています。

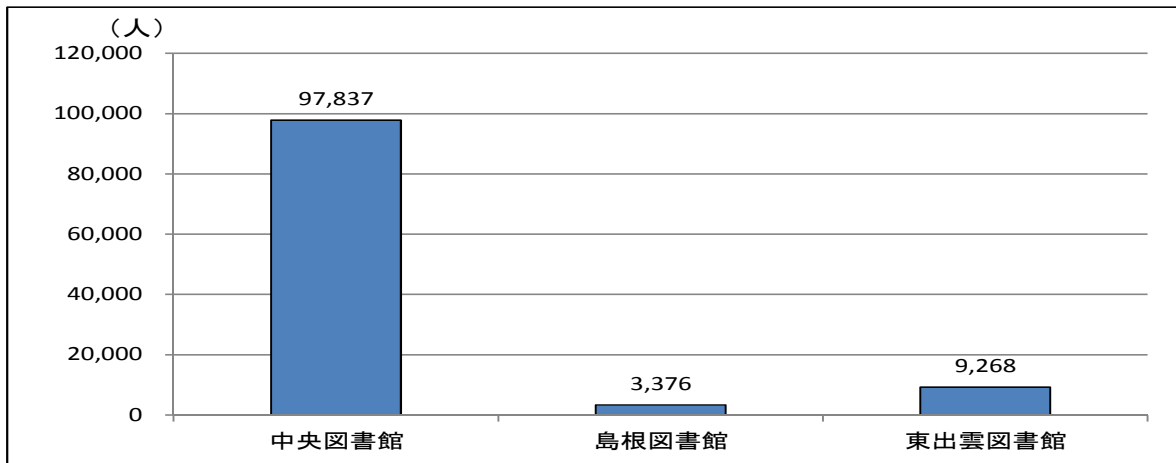
また、本市では、移動図書館車「本のかけはし だんだん号」により、図書館から遠い地域の皆様や子どもたちに本を届けています。

No.	施設名	地域	建築年	施設概要	備考
1	中央図書館	橋南	S60年	一般図書 289,392冊 児童図書 89,437冊	総合文化センターとの複合施設
2	島根図書館	島根	H20年	一般図書 10,764冊 児童図書 6,765冊	島根公民館との複合施設
3	東出雲図書館	東出雲	S52年	一般図書 11,281冊 児童図書 10,725冊	東出雲ふれあい会館との複合施設

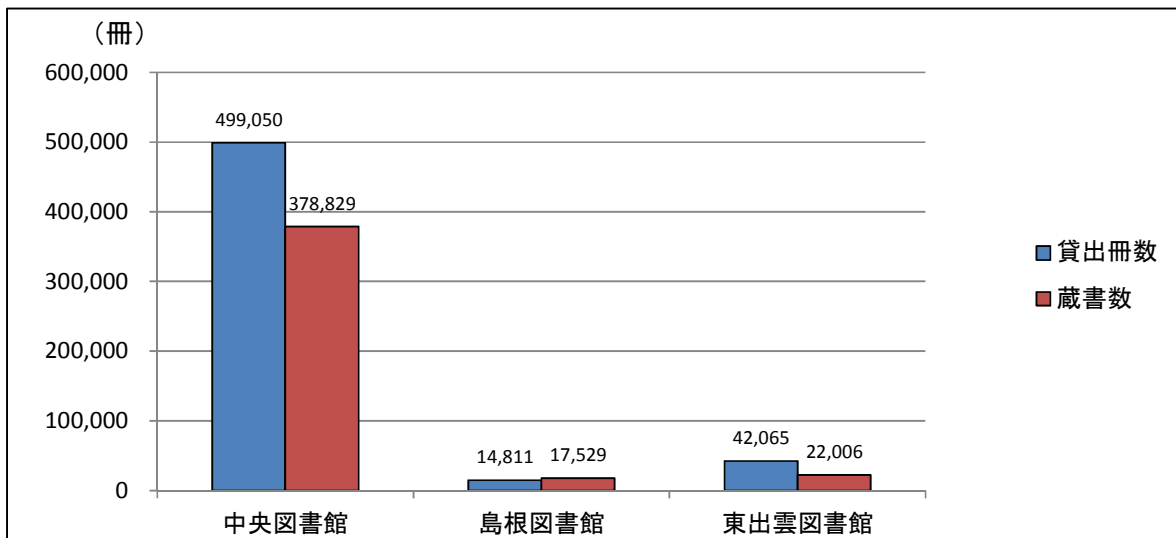
②利用状況

松江市全体での年間貸出者数は110,481人となっており、そのうち中央図書館での年間貸出者数が97,837人、88.6%と9割近くを占めます。

図表 施設別利用者数



図表 蔵書数・貸出冊数



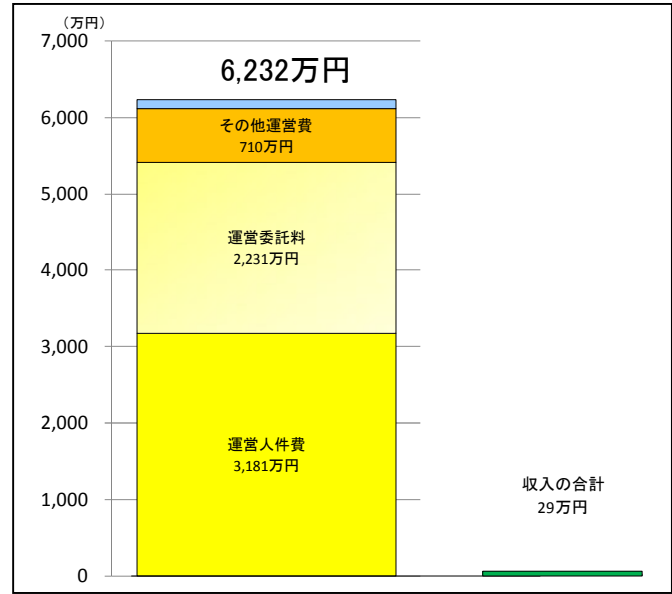
※雑誌、AVを除く

③コスト状況

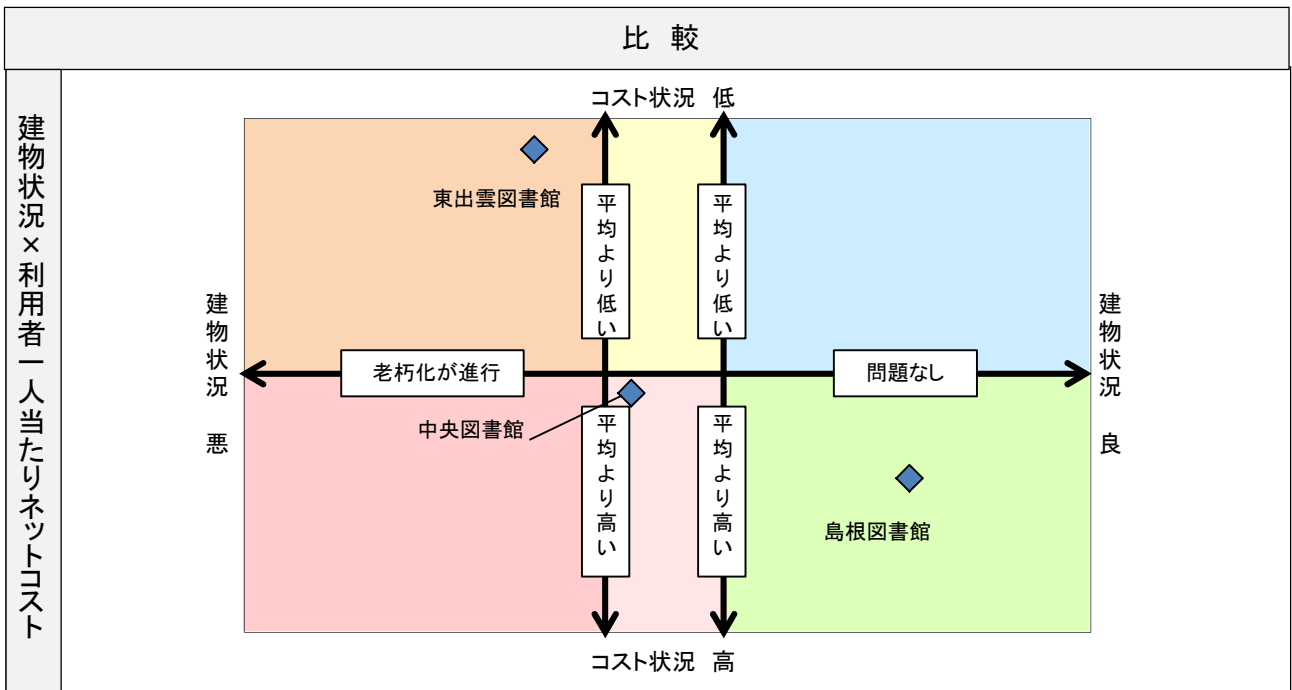
トータルコストは、全施設で6,232万円となっています。一方、収入は29万円となっており、6,203万円の財政負担が生じています。

維持管理系の経費は、複合施設の主たる側である、プラバホールや公民館の経費となっていることから、ほとんどのコストは、運営にかかるコストとなっています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 中央図書館では橋南地区の利用者の割合が62%と高くなっており、また週1回以上利用する人の割合が49%と高く利用者は固定的であるといえる。
- 中央図書館の蔵書数が、他の図書館より格別に多くなっており、市民全体が中央図書館を利用できるようにすることが課題である。
- 県立図書館との役割分担を踏まえ、トータルとしての市民利用について、見極める必要がある。

3. スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 観光施設

①施設概要

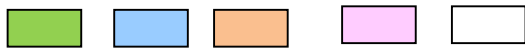
観光施設とし、観光振興のために整備されてきた施設（15施設）と、宿泊や温泉を有し利用者の健康増進を図る目的で整備された保養施設（10施設）を合わせると25施設と、多数の施設が存在しています。

(観光施設)

No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設構成
1	京店カラコロ広場	橋北	241.37	H8年	西棟、東棟、南棟、公衆トイレ
2	カラコロ工房	橋北	2,953.63	H12年	本館棟、別棟、工房棟、回廊、ゲート
3	松江堀川ふれあい広場	橋北	401.18	H9年	堀川観察研修館1、公衆トイレ1
4	まつえしんじ湖温泉足湯	橋北	24.75	H15年	足湯上屋1、更衣室1
5	松江フォーゲルパーク	橋北	11,921.42	H13年	温室棟、展望台、管理事務所
6	松江イングリッシュガーデン	橋北	5,350.51	H13年	屋内ガーデン、東屋、パーゴラ、管理事務所、予備温室、バス停留所、陸橋、休憩室
7	松江市島根ダイビングセンター	島根	295.20	H12年	管理棟1、エア充填庫1
8	宍道湖しじみ館足湯	橋北	12.88	H21年	足湯上屋1
9	忌部自然休養村・豪農屋敷	橋南	1,367.91	S49年	休憩場1、旧豪農屋敷1、公衆トイレ2
10	松江市小波キャンプ場	島根	496.41	S60年	管理棟1、炊事棟1、トイレ棟1
11	マリングートしまね	島根	1,714.00	H3年	貸館施設1
12	メテオプラザ	美保関	6,106.67	H7年	プール、ホール等
13	松江市美保関観光ビューッフェ	美保関	330.19	M31年	レストラン1
14	いろいろ茶屋	宍道	353.00	H17年	食堂施設1
15	松江市来待ストーン	宍道	1,251.00	H8年	工芸館1

(保養施設)

No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設構成
1	鹿島多久の湯	鹿島	1,492.28	H15年	温泉施設1
2	マリンハウス加賀	島根	712.00	H3年	管理棟1、コテージ7、東屋1
3	マリンパーク多古鼻	島根	1,953.22	H15年	管理棟1、コテージ15、展望台1、トイレ棟1
4	松江市ふるさと森林公園	宍道	1,294.81	H5年	管理棟1、宿泊棟
5	大森の湯	宍道	559.00	H13年	温泉施設1
6	古墳の森ケビン	宍道	48.00	H1年	ロッジ4
7	玉造温泉ゆ〜ゆ	玉湯	3,898.25	H8年	公衆浴場1
8	ホットランドやくも	八雲	2,236.00	H8年	プール
9	ゆうあい熊野館	八雲	3,112.00	H9年	温泉、宿泊施設等
10	松江市星上山スターパーク	八雲	594.63	H6年	管理棟1、コテージ9



広場 足湯 公園施設 キャンプ場 観光施設

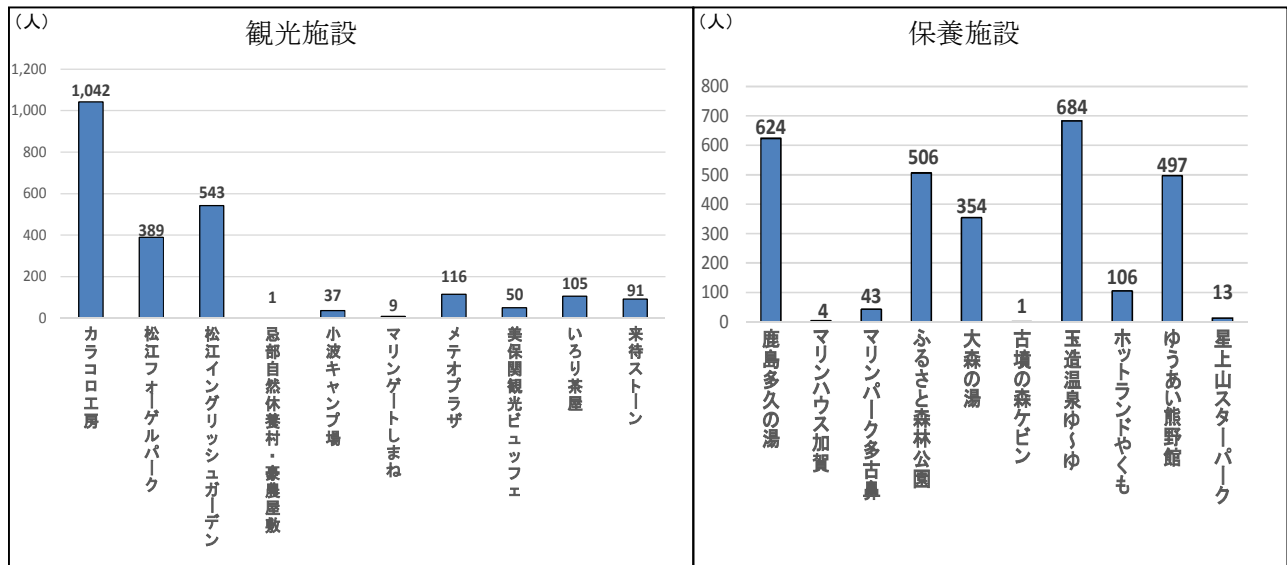


宿泊施設 温泉施設

②利用状況

年間10万人以上の利用者を集めている施設が8施設存在している一方で、既に休止状態にある施設や、1日当たりの利用者数が数十人といった施設も存在しています。

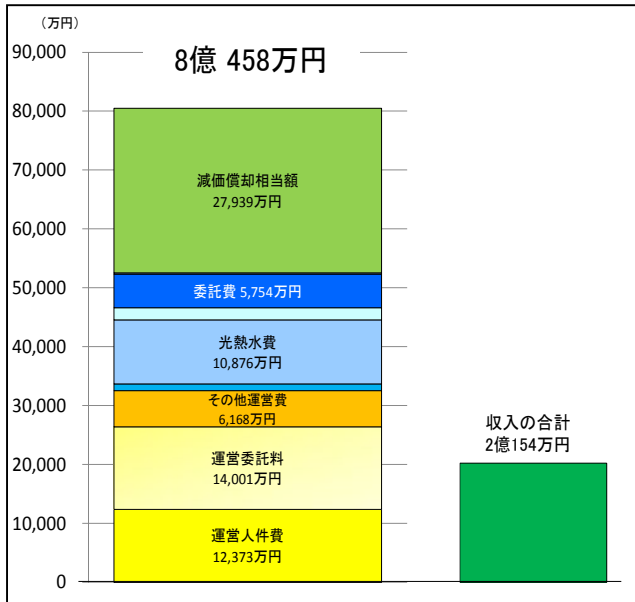
図表 1日当たり利用者数



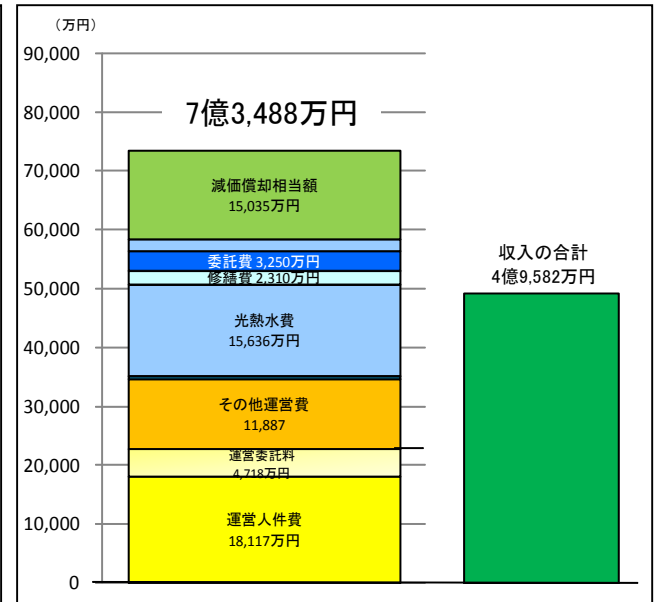
③コスト状況

観光施設の収入は、トータルコストの約25%となっています。一方、保養施設については、トータルコストの約68%、減価償却費を除いたコストの約85%を収入で賄っている状況となっています。

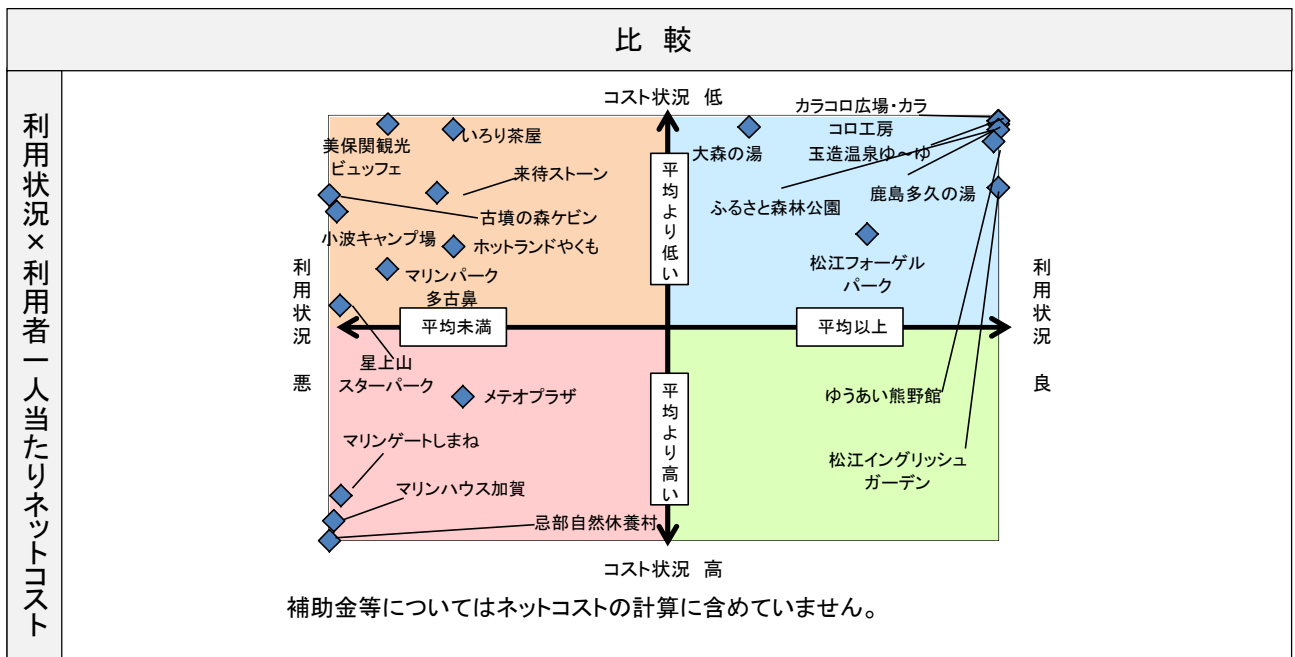
図表 観光施設トータルコスト及び収入



図表 保養施設トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用者アンケートでは、鹿島多久の湯、大森の湯、玉造温泉ゆ〜ゆを週1回以上利用する人は50%前後おり、固定的な利用者が多いことが分かる。
- 観光施設より、保養施設の方が施設利用収入が多く、コストを賄っている割合も高くなっている。

(2) スポーツ系施設

① 施設概要

本市は、体育館、プール等の屋内スポーツ施設は20施設、屋外スポーツ施設は21施設、全体で41のスポーツ施設を保有しています。体育館等では、8,000㎡を超える大型施設が2施設（総合体育館、鹿島総合体育館）あるうえ、旧市町村毎に中核的な屋内スポーツ施設が整備され、合併後もそのまま引き継がれています。また、体育館等20施設のうち、12施設が30年以上を経過しており、そのうち、耐震診断未済もしくは耐震補強の必要な施設も残っています

(体育館等屋内施設)

No.	施設名	地域	建築年	延床面積 (㎡)	大体育館	小体育館	プール	柔道・剣道	施設を構成する建物
1	松江市総合体育館・北運動場	橋北	S51年	8,777.00	●	●	●		体育館1
2	松江海洋センター	橋北	S57年	1,917.30		●●			体育館1、艇庫1
3	松江市社会体育館	橋南	H7年	1,256.29					体育館1
4	矢田体育館	橋南	S60年	1,290.70		●			体育館1
5	サンライフ松江	橋南	S61年	1,402.35		●			体育館1、事務所1
6	松江市馬湯体育館	橋南	S55年	765.15		●			体育館1
7	鹿島総合体育館	鹿島	H10年	8,356.43	●	●	●		体育館1
8	鹿島武道館	鹿島	S55年	1,238.25				●	武道館1
9	鹿島御津地区体育館	鹿島	S60年	635.08		●			体育館1
10	島根体育館	島根	S59年	1,968.00	●				体育館1
11	美保関体育館	美保関	S55年	1,491.98		●			体育館1
12	美保関森山地区体育館	美保関	S44年	507.00		●			体育館1
13	美保関片江地区体育館	美保関	S52年	522.00		●			体育館1
14	八束体育館	八束	S58年	2,649.39	●				体育館1
15	宍道体育センター	宍道	S49年	1,787.00	●				体育館1
16	宍道武道館	宍道	S54年	450.00				●	武道館1
17	宍道B&G海洋センター	宍道	H11年	1,554.69			●		プール棟1、トレーニングルーム1
18	玉湯体育館	玉湯	S54年	2,233.96	●				体育館1
19	八雲構造改善センター	八雲	H2年	1,540.90		●			八雲構造改善センター1棟
20	東出雲体育館	東出雲	S55年	3,622.92	●	●		●	体育館1

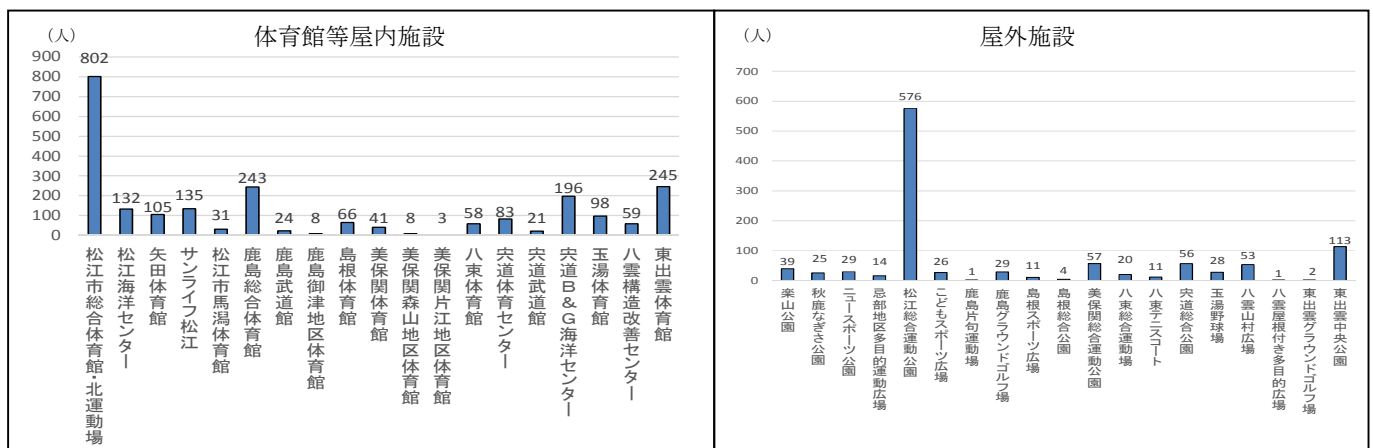
(屋外施設)

No.	施設名	地域	建築年	延床面積 (㎡)	土地面積 (㎡)	野球	テニス	多目的広場	施設を構成する建物
1	国際交流広場	橋北		0.00	4,409.00		●		土地のみ
2	桑山公園	橋北	H5年	48.36	11836 (賃借)	●	●		野球場
3	秋鹿なぎさ公園	橋北	H10年	1,188.81	4,075.78				事務所1、艇庫1、炊事棟1
4	ニュースポーツ公園	橋北	H15年	336.39	59,541.23				クラブハウス2
5	忌部地区多目的運動広場	橋南		0.00	8,884.00			●	土地のみ
6	松江総合運動公園	橋南	S56年	10,207.99	61,170.05 (賃借)	●	●	●	競技場1、野球場1、クラブハウス2、管理棟2、倉庫1
7	こどもスポーツ広場	橋南	H20年	722.00	722 (賃借)				屋根付広場1
8	鹿島片勾運動場	鹿島	H1年	23.00	3,114.00			●	トイレ兼倉庫
9	鹿島相撲場	鹿島	S62年	100.00	100 (賃借)				土俵1
10	鹿島グラウンドゴルフ場	鹿島	H17年	66.20	6,125.75				管理棟1
11	島根スポーツ広場	島根	S62年	101.44	31,554.56			●	トイレ1
12	島根総合公園	島根	S60年	112.00	15,000.00 (賃借)	●	●	●	野球場1、トイレ1、東屋1、テニスコート(使用不可)
13	美保関総合運動公園	美保関	S63年	1,066.67	15,000.00 (賃借)	●	●	●	管理棟1、野球場1、トイレ1、倉庫1
14	八束総合運動場	八束	S58年	435.00	21,446.00	●		●	多目的広場1、野球場1、事務所1
15	八束テニスコート	八束	H4年	50.00	11,029 (賃借)		●		クラブハウス1
16	宍道総合公園	宍道	S58年	1,036.48	244.00	●	●	●	管理棟1、トイレ1
17	玉湯野球場	玉湯	S60年	71.92	29,031.64	●		●	管理棟1、トイレ1、倉庫1
18	八雲山村広場	八雲	H17年	336.30	55,974.00	●	●	●	テニスコート管理棟1棟、野球場管理棟1棟、野球場トイレ1棟
19	八雲屋根付き多目的広場	八雲	H6年	432.00	1,425.54			●	屋根付広場1、倉庫1
20	東出雲グラウンドゴルフ場	東出雲	H13年	192.60					クラブハウス1、駐輪場1、倉庫1
21	東出雲中央公園	東出雲	S59年	338.74		●	●	●	野球場1、管理棟1、倉庫1、トイレ1

② 利用状況

平均稼働率が50%を下回るような施設、稼働率が高くとも、1日当たり利用者数が少ない施設が存在しています。

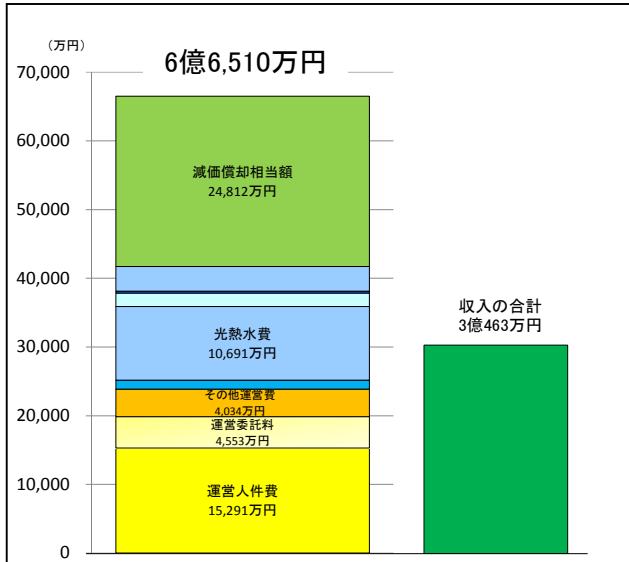
図表 1日当たり利用者数



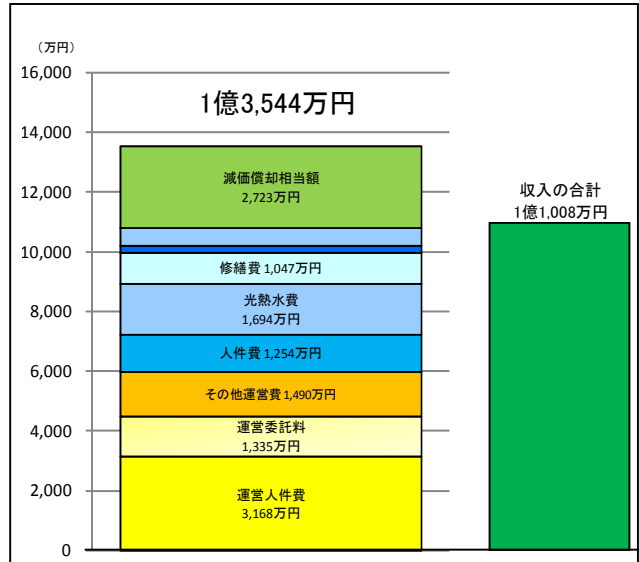
③コスト状況

体育館等屋内施設のトータルコストは、6億6,510万円から、収入3億463万円を除いたネットコストは3億6,047万円となっています。一方、屋外施設のトータルコスト1億3,544万円から、収入1億1,008万円を除いたネットコストは2,536万円となっています。

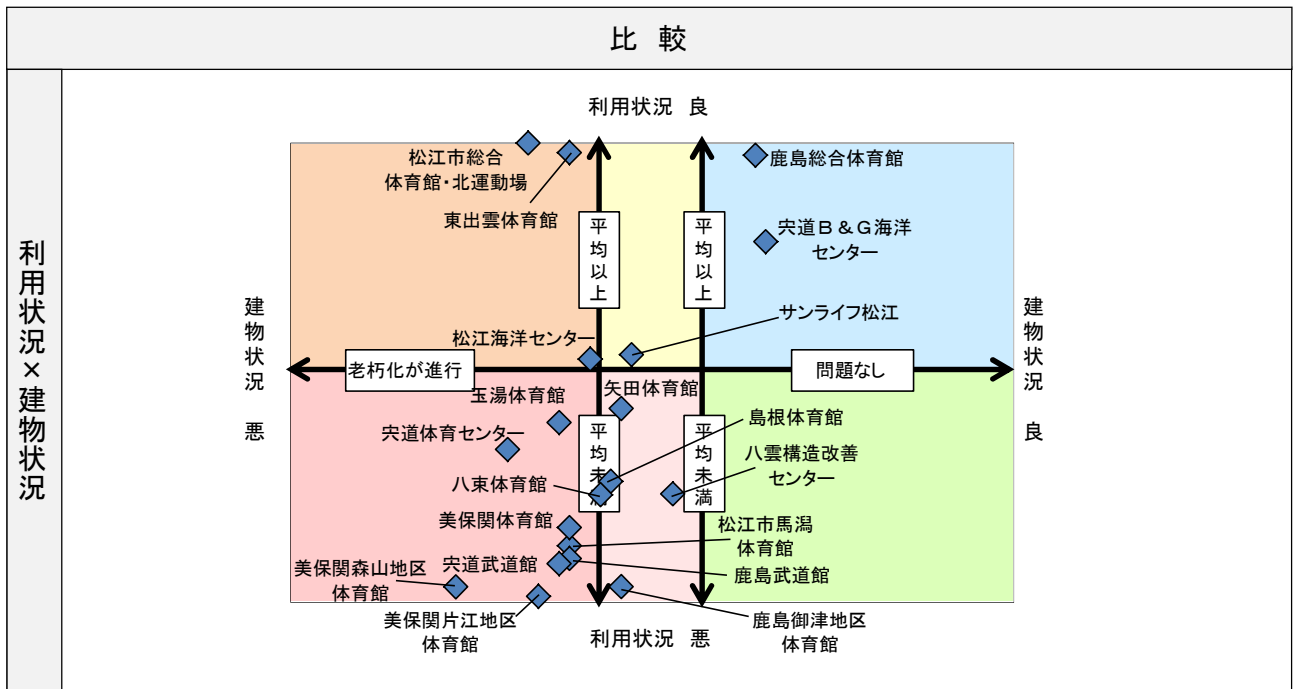
図表 体育館等屋内施設トータルコスト及び収入



図表 屋外施設トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用者アンケートによると、体育館等を週1回以上利用する人の割合は利用者全体の76%であり、利用者は固定的であるといえる。
- 老朽化が進み、かつ利用状況の低い施設が多く見られる。

4. 産業系施設

①施設概要

産業系施設には、産業従事者向けの研究・生産施設や加工・流通施設、販売・展示施設等の機能を有する施設と、農園等一般市民向けに産業関連の体験機能を提供する施設があり、分野としては農業を中心に、多様な施設を20施設保有しています。

築後20年未満の施設が13施設を占めるなど、比較的新しい施設が多くなっています。

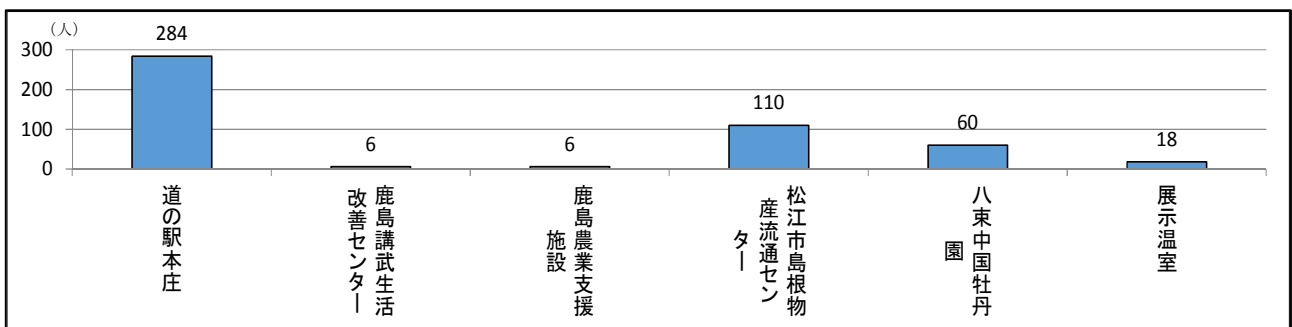
	No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	生産・販売			市民体験			
						研究・生 産施設	加工・流 通施設	展示・販 売施設	実習・体 験施設	農園	集会室・ 休憩室	宿泊 施設
産業 支 援 施 設	1	道の駅本庄	橋北	300.00	H18年			●				
	2	鹿島講武生活改善センター	鹿島	181.40	S60年				●		●	
	3	鹿島農業支援施設	鹿島	563.76	H17年		●					
	4	鹿島・島根栽培漁業振興センター	鹿島	1,446.84	H15年	●						
	5	島根菌床きのこ工場	島根	1,842.00	H5年	●						
	6	松江市島根物産流通センター (マリンショップ)	島根	558.00	H5年			●				
	7	千酌共同処理加工施設	美保関	121.13	S62年	●						
	8	八束中国牡丹園	八束	260.55	H5年	●						
	9	展示温室(グリーンステラ)	八束	644.00	H9年			●				
	10	八束花卉生産振興センター・八束低 温処理施設	八束	1,400.00	H3年	●						
	11	農産物処理加工施設 (農産館)	宍道	221.00	H17年		●					
	12	蕃養殖施設	玉湯	36.00	H14年	●			●			
	13	布志名漁業用集荷施設	玉湯	56.78	H7年		●					
	14	八雲秋吉地区農林水産物処理加工 施設	八雲	181.50	H13年		●					
	15	宍道菅原農村生産ターミナル施設	宍道	240.80	H15年			●	●	●	●	
	16	松江勤労者総合福祉センター(松江 テルサ)	橋南	7,487.22	H12年			●			●	
農 園	1	湖北ファミリー農園	橋北	331.48	H8年					●	●	
	2	やくもアグリパーク	八雲	581.13	H16年					●		●
	3	八雲ふれあい農園	八雲	106.00	H3年					●	●	
	4	東出雲ふれあい農園	東出雲	188.17	H8年					●	●	

②利用状況

研究・生産施設や加工流通施設を除く市民の利用状況は展示・販売機能を有する施設のうち、道の駅本庄、島根物産流通センターは、1日当たり284人、110人と相応の利用者数となっています。また、八束中国牡丹園は一般開放時期が限定されている中で、1日当たり60人となっています。しかしながら、利用者数の少ない施設も多くあります。

一方、農園の利用率は、全体で80%を超えており、高い利用率を維持しています。

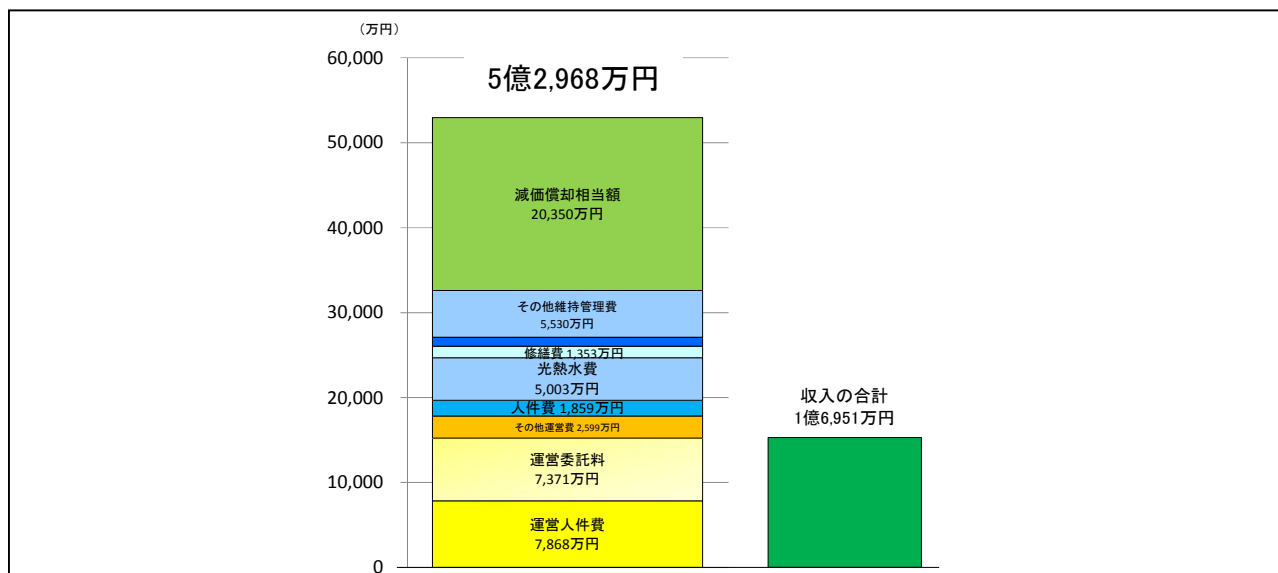
図表 1日当たり利用者数



③コスト状況

年間トータルコストは、5億2,968万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億4,780万円、事業運営にかかるコストは1億7,838万円、減価償却費相当額は2億350万円となっています。一方、収入は、1億6,951万円であり、3億6,017万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状及び課題

- 地域の産業育成等の事情に応じた多様な施設が20施設存在しており、一律の評価は困難である。

5. 保健・福祉施設

(1) 保健・福祉センター

①施設概要

平成17年に設置した松江市保健福祉総合センターが、本市の保健福祉事業の中核的な施設となっています。一方で、各地域の保健・福祉センターでは、福祉団体の拠点施設や、貸館等、提供しているサービスや管理運営の形態も全く異なり、最近では、子育て支援や、介護保険法に基づく地域包括支援の場として活用するケースも増えています。

保健・福祉センターは比較的新しい施設が多く、すべて新耐震基準の建物となっています。

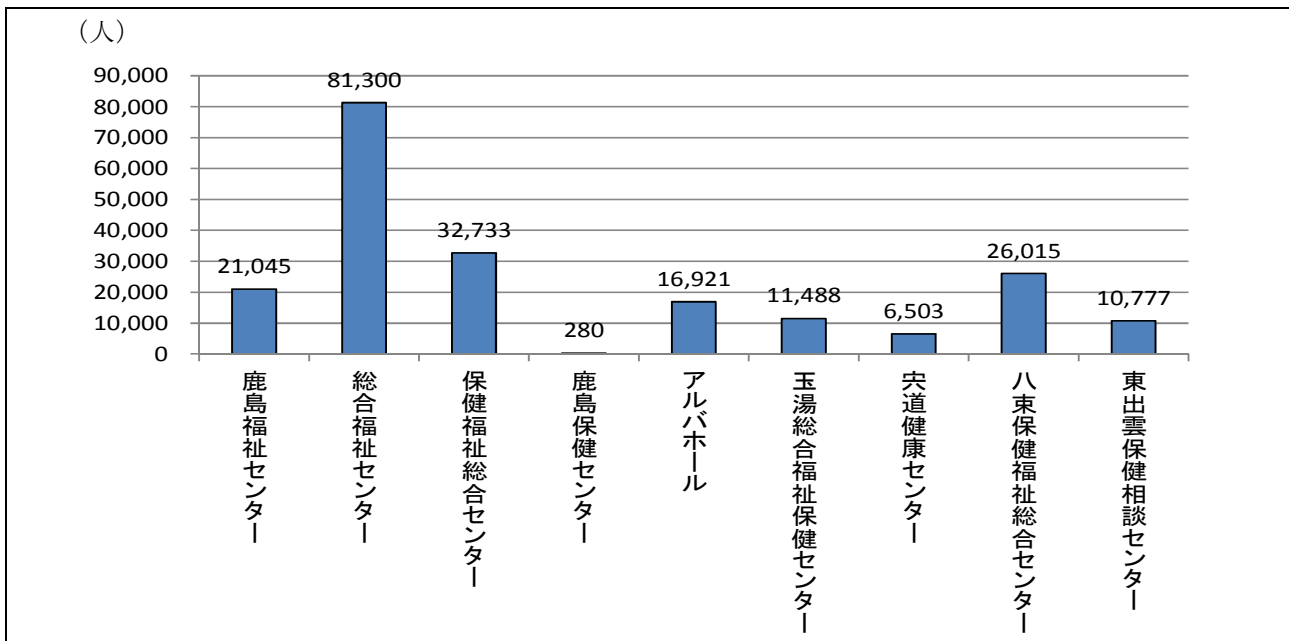
No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設概要
1	松江市鹿島福祉センター	鹿島	3,107.33	H14年	子育て支援センター、会議室、調理実習室、工房、イベントホール、ギャラリー、デイサービス施設を有する、文化活動、福祉サービスを提供する施設
2	松江市総合福祉センター	橋北	3,996.76	S60年	松江市社会福祉協議会、松江市老人クラブ連合会、ボランティアセンター、障害者支援施設等福祉関係の拠点施設となっている。また、入浴施設や座席数234席の大ホールを有する。
3	松江市保健福祉総合センター	橋南	5,126.21	H17年	保健福祉事業の拠点施設(松江市健康福祉部の一部、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、松江市発達教育相談支援センター「エスコ」、市立病院健診センター等)
4	鹿島保健センター	鹿島	650.68	S63年	保健福祉事業の地域活動拠点
5	アルバホール	八雲	2,498.81	H6年	座席数415席のホールを有する保健福祉事業の地域活動拠点(現在、複合施設として再編中)
6	玉湯総合福祉保健センター	玉湯	2,688.44	H11年	子育て支援センター、デイサービスセンター、ショートステイ等を有する施設
7	宍道健康センター	宍道	839.02	H9年	保健相談、子育て支援、地域包括支援等各種事業を実施する拠点施設
8	八東保健福祉総合センター	八東	2,718.14	H11年	健康増進施設(水中走行プール)、デイサービスセンターを有する拠点施設
9	東出雲保健相談センター	東出雲	971.52	H12年	保健相談、子育て支援、ファミリーサポートセンター、地域包括支援事業等、保健福祉の拠点施設

※アルバホール、八雲公民館、八雲支所は、一体となった複合施設として平成25年度に完成しています。

②利用状況

提供しているサービスが異なり、また指定管理者の自主事業もあり利用状況は様々となっています。鹿島保健センター、東出雲保健相談センター、宍道健康センターは、年間利用者数が低迷しており地域の保健・福祉センターの利用は少なくなっています。

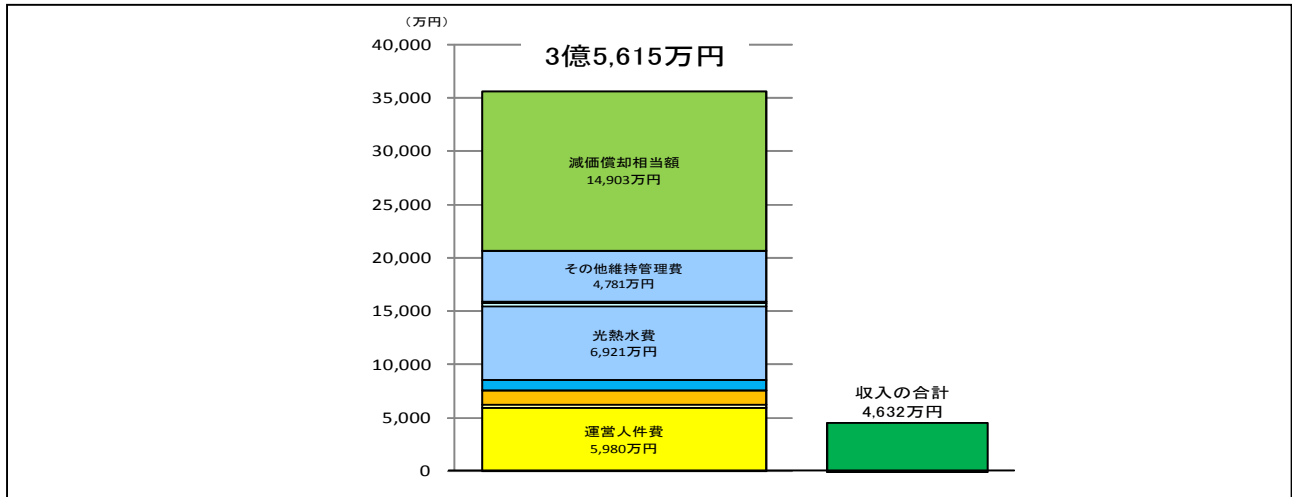
図表 年間利用者数



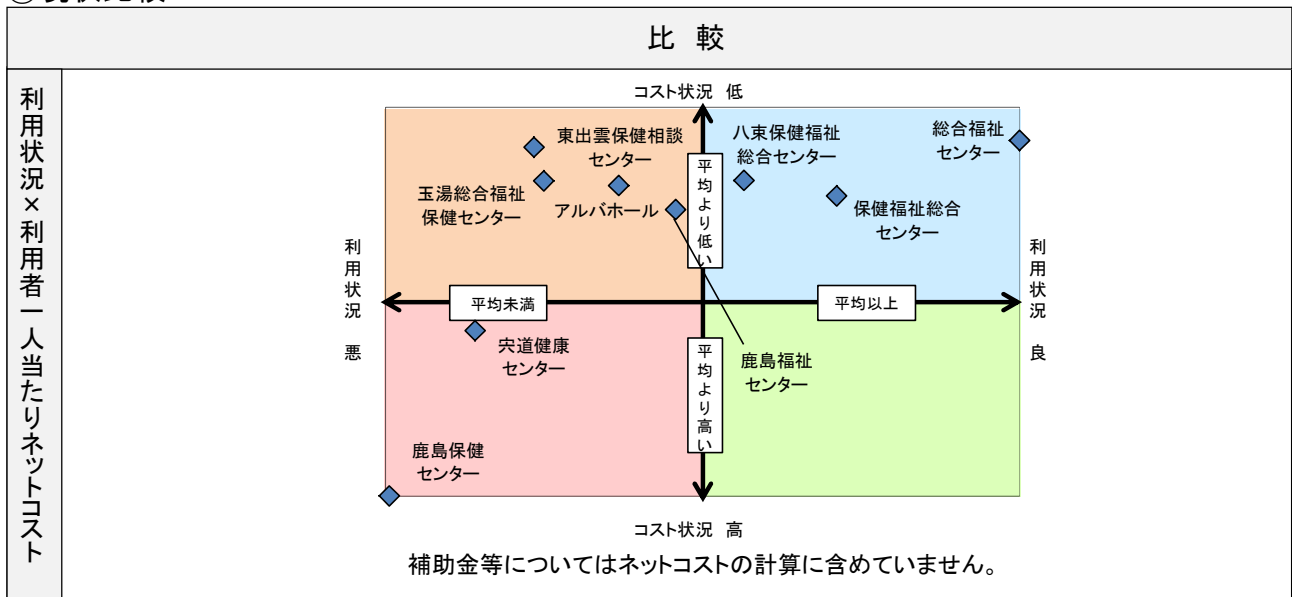
③コスト状況

年間トータルコストは、3億5,615万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億3,112万円、事業運営にかかるコストは7,600万円、減価償却費相当額は1億4,903万円となっています。一方、収入は、4,632万円であり、3億983万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 施設により利用状況、利用者 1 人当たりのコストに大きな違いがある。

(2) デイサービスセンター

①施設概要

本市には専らデイサービスを行うための施設を4箇所、保健・福祉センター内にデイサービスの機能を持った複合施設を3箇所（鹿島福祉センター、八束保健福祉総合センター、玉湯総合保健福祉センター）設置しています。

No	施設名	地域	延床面積(m ²)	建築年	定員	備考
1	在宅福祉サービスセンター	橋北	3,042.13	H4年	30人	
2	幸町デイサービスセンター	橋南	560.10	H6年	30人	
3	熊野デイサービスセンター	八雲	407.00	H11年	20人	
4	香梅の里	美保関	1,689.32	H8年	25人	

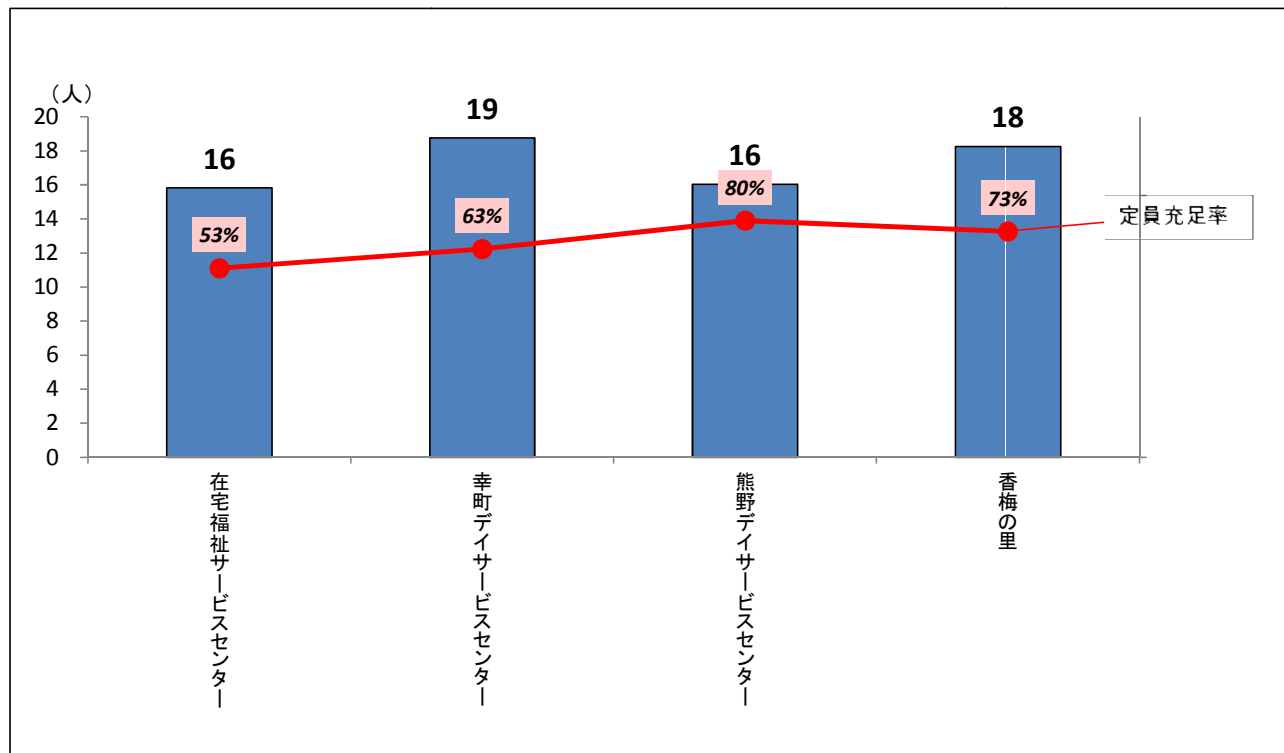
※在宅福祉サービスセンターは、平成26年4月1日より休止しています。

※幸町デイサービスセンターは、平成26年4月1日に民間譲渡いたしました。

②利用状況

デイサービス事業の運営そのものは、全て、指定管理者等が自主事業として行っています。年間利用者数は最も少ない熊野デイサービスセンターで3,865人、最も多い幸町デイサービスセンターで6,565人となっています。在宅福祉サービスセンターの1日当たりの利用者数が定員数に比べて低い数値となっています。

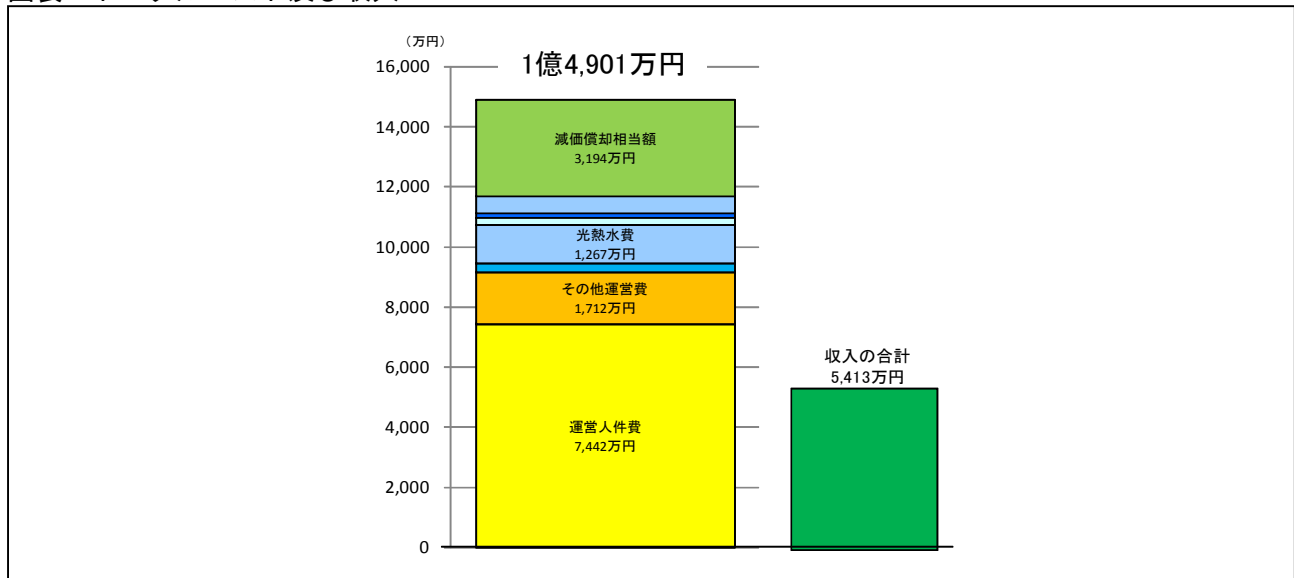
図表 1日当たり利用者数



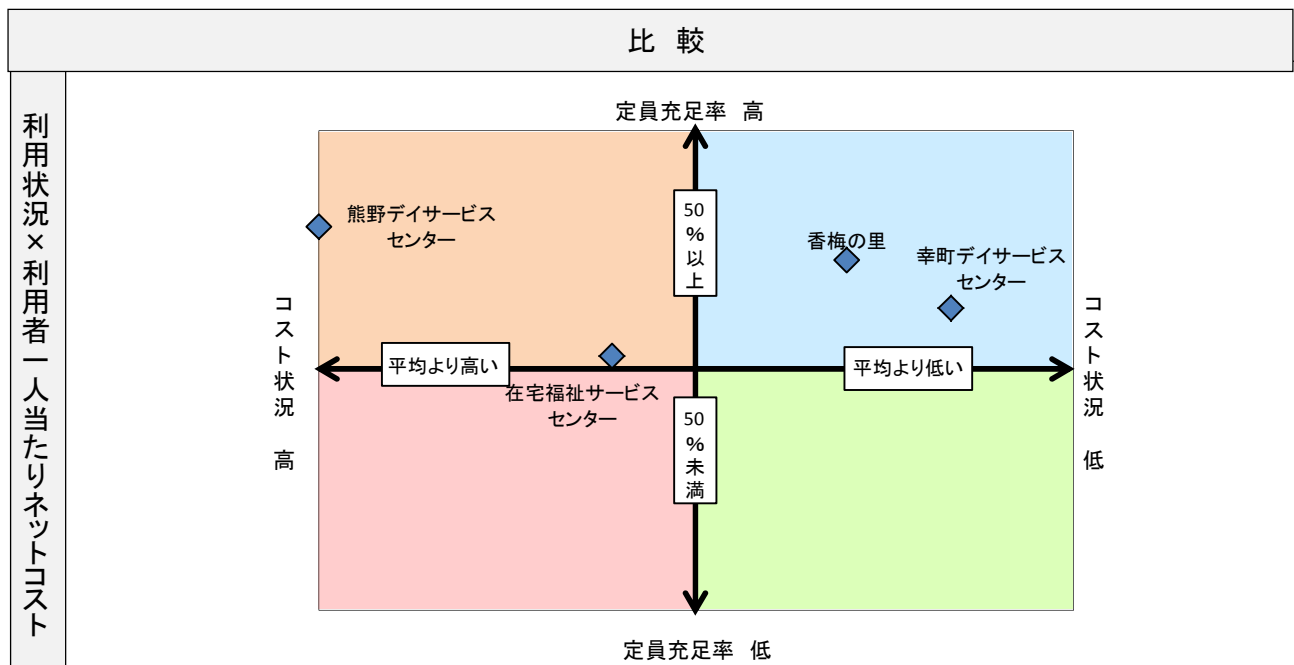
③コスト状況

年間トータルコストは、1億4,901万円です。そのうち施設にかかるコストは2,545万円、運営にかかるコストは9,162万円、減価償却費相当額は3,194万円となっています。一方、収入は、5,413万円であり、9,488万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用率とコストのバランスを考慮して施設の運営について検討する必要がある。
- 介護保険法の施行以後、多くの民間事業所がサービスを実施している。

(3) 老人福祉センター

①施設概要

老人福祉センターは、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションなどの場を提供する施設として、主に、昭和40～50年代にかけて設置したもので、本市には6箇所あります。

主に地元集会所として利用されていますが、地域によっては、老人福祉センターとは別に、地域集会所等の施設が設置されているため、機能が重複している地域があります。

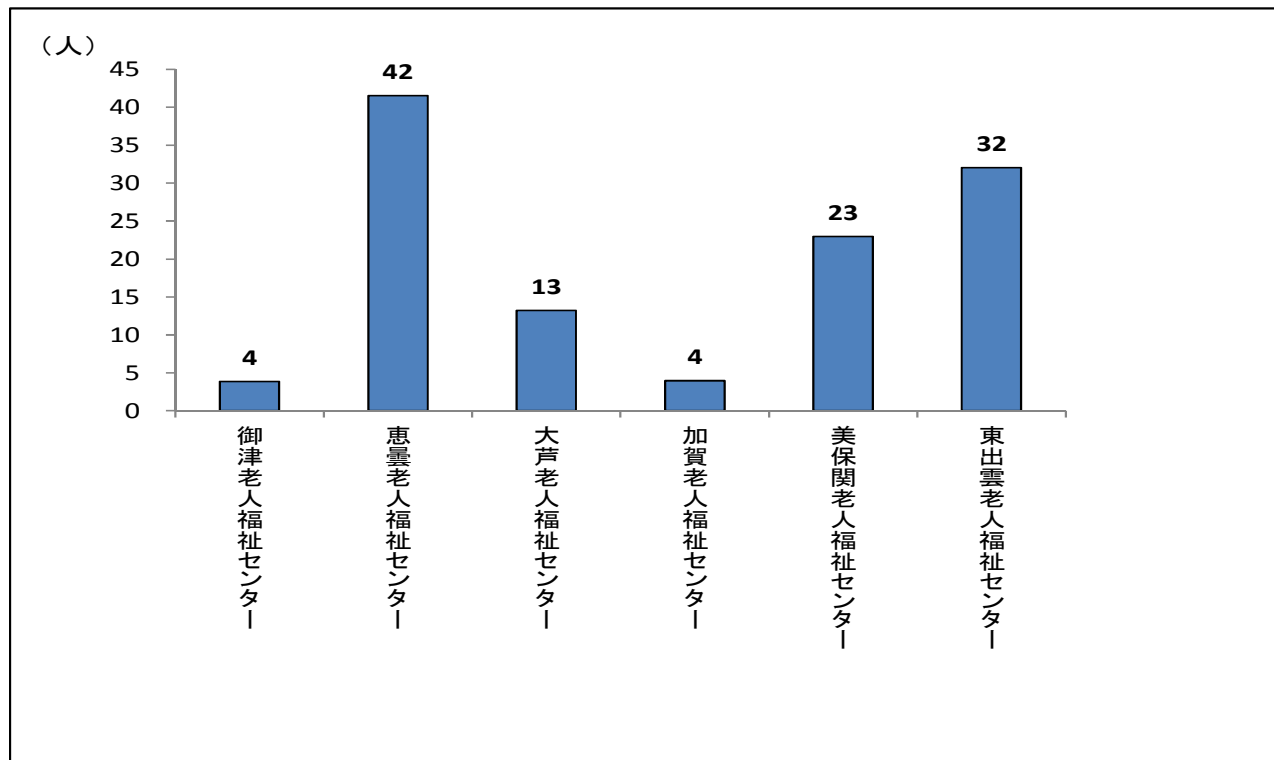
No	施設名	地域	建築年	延床面積(m ²)	備考
1	御津老人福祉センター	鹿島	S55年	219.34	
2	恵曇老人福祉センター	鹿島	S57年	970.21	恵曇公民館
3	大芦老人福祉センター	島根	S48年	700.00	
4	加賀老人福祉センター	島根	S54年	236.74	
5	美保関老人福祉センター	美保関	S50年	673.29	美保関地区公民館
6	東出雲老人福祉センター	東出雲	S60年	884.95	

の施設については既に築30年以上経過しており、老朽化が進んでいる。

②利用状況

施設合計の利用者数は3万2,298人です。施設毎に利用者数にバラつきがあり、恵曇老人福祉センター、東出雲老人福祉センターの2施設で総利用者の約63%を占めています。

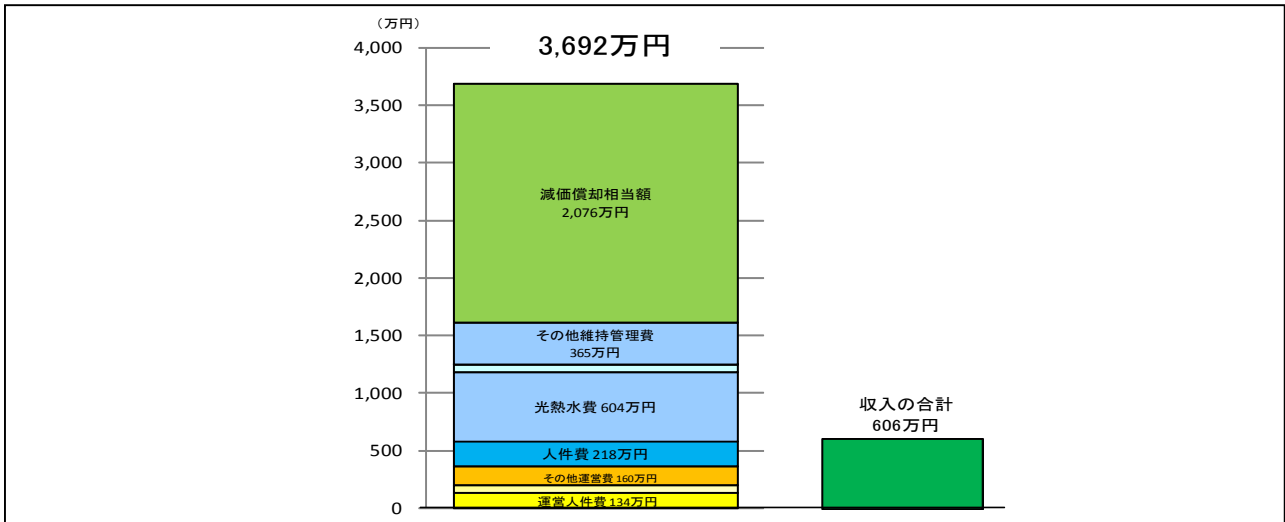
図表 1日当たり利用者数



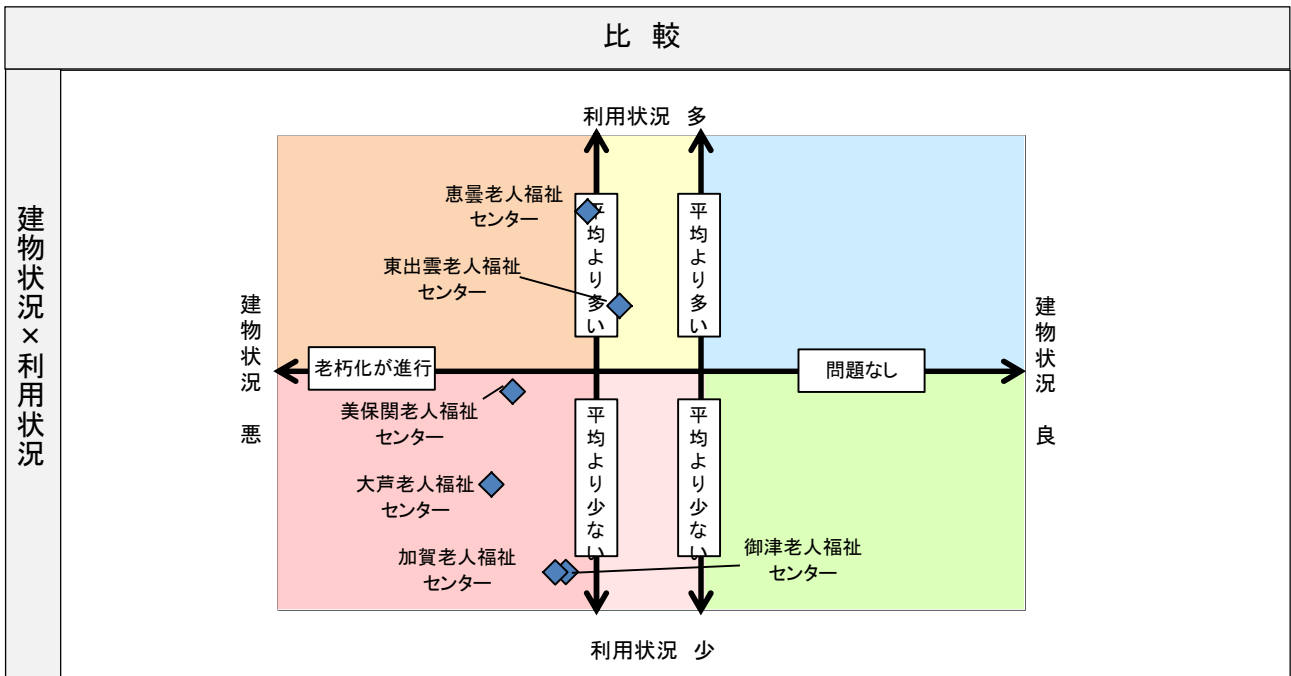
③コスト状況

年間トータルコストは、3,692万円です。そのうち施設にかかるコストは1,252万円、事業運営にかかるコストは364万円、減価償却費相当額は2,076万円となっています。一方、収入は、606万円であり、3,086万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 老朽化が進んでいる施設が多くなっている。
- 地域によっては、老人福祉センターとは別に、地域集会所等の施設が設置されているため、機能が重複している地域がある。

(4) 介護予防拠点施設

①施設概要

介護予防拠点施設は、介護保険制度開始に伴って、国及び県の介護予防拠点整備事業を受けたもので、地域のお年寄りを中心に集会施設として使われています。

公民館等の集会施設と機能の重複設置が見られる地域があります。

No	施設名	地域	建築年	延床面積(m ²)
1	秋桑すこやか会館	八雲	H7年	351.00
2	別所ほほえみ会館	八雲	H14年	374.65
3	熊野下高齢者交流サロン	八雲	H15年	121.28
4	大明高齢者交流サロン	八雲	H14年	154.84
5	熊野高齢者交流サロン	八雲	H13年	49.89
6	岩坂高齢者交流サロン	八雲	S42年	55.00
7	宍道88健康館	宍道	H16年	175.02
8	みさきの郷	島根	H14年	268.78
9	かかやきハウス	島根	H11年	124.50
10	美保関東ふれあいプラザ	美保関	H15年	145.50
11	美保関西ふれあいプラザ	美保関	H13年	146.50
12	波入地区介護予防拠点施設	八束	H15年	87.15
13	入江地区介護予防拠点施設	八束	H14年	107.68
14	二子地区介護予防拠点施設	八束	H13年	82.25
15	寺津地区介護予防拠点施設	八束	H16年	86.50
16	亀尻地区介護予防拠点施設	八束	H16年	93.04
17	馬渡地区介護予防拠点施設	八束	H16年	158.07
18	遅江地区介護予防拠点施設	八束	H14年	122.01
19	江島地区介護予防拠点施設	八束	S50年	88.15
20	東出雲おちらと村	東出雲	H13年	916.37

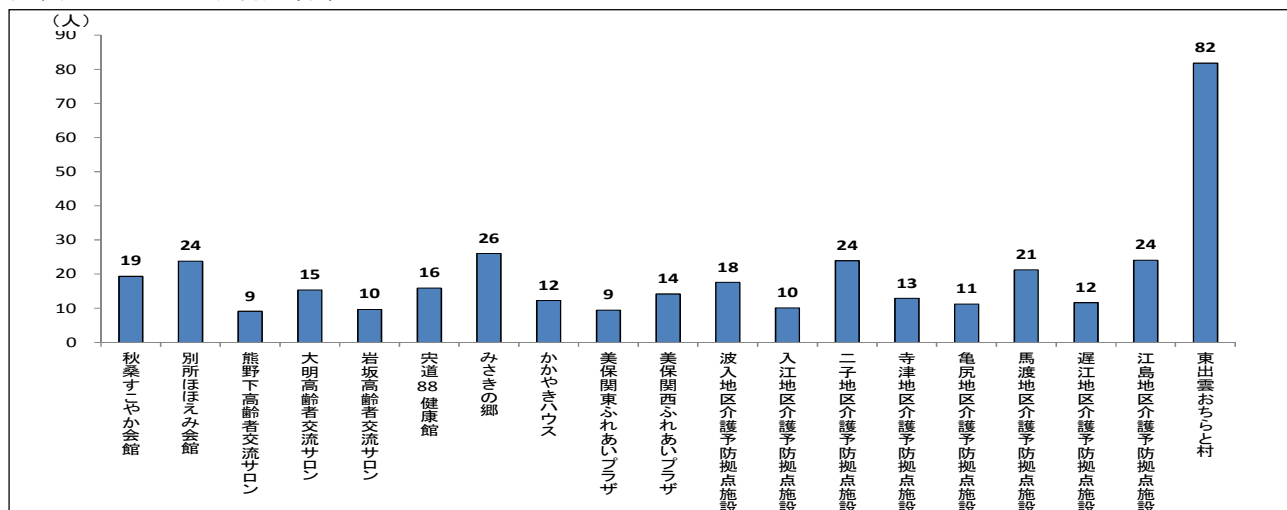
の施設以外はすべて平成になってから建設

東出雲おちらと村は、介護予防施設としての機能だけではなく、そば打ち体験や竹とんぼ作りなどの木工・竹細工・わら細工体験ができ、世代を超えて楽しめる多機能施設として多くの利用者があります。

②利用状況

施設合計の年間利用者数は合計で3万4,655人です。

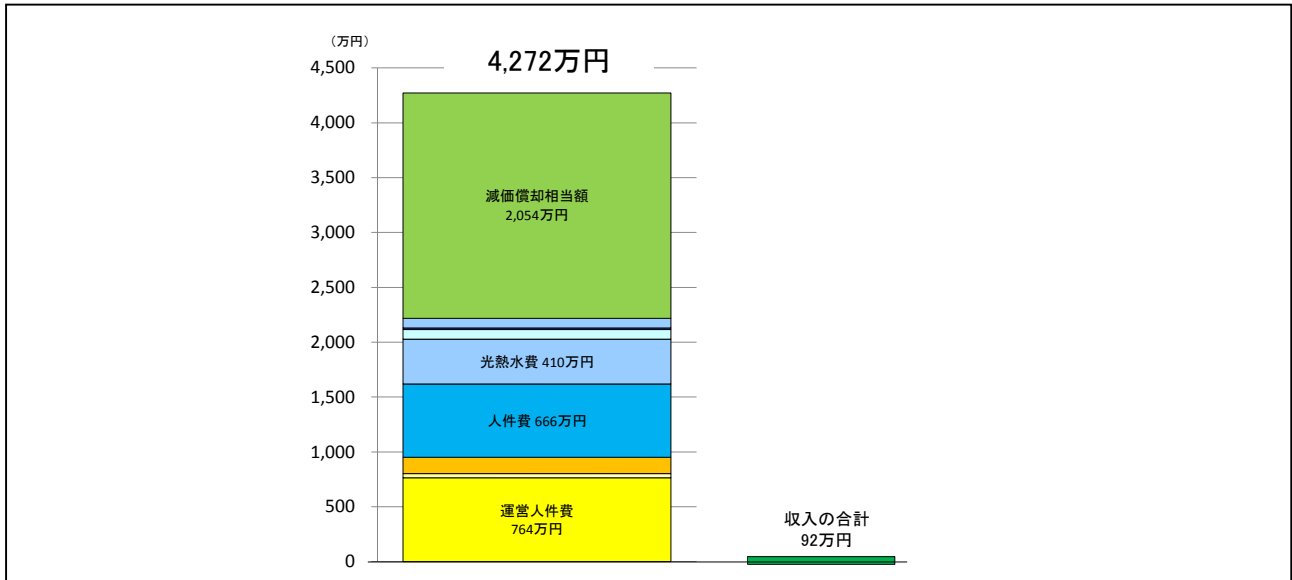
図表 1日当たり利用者数



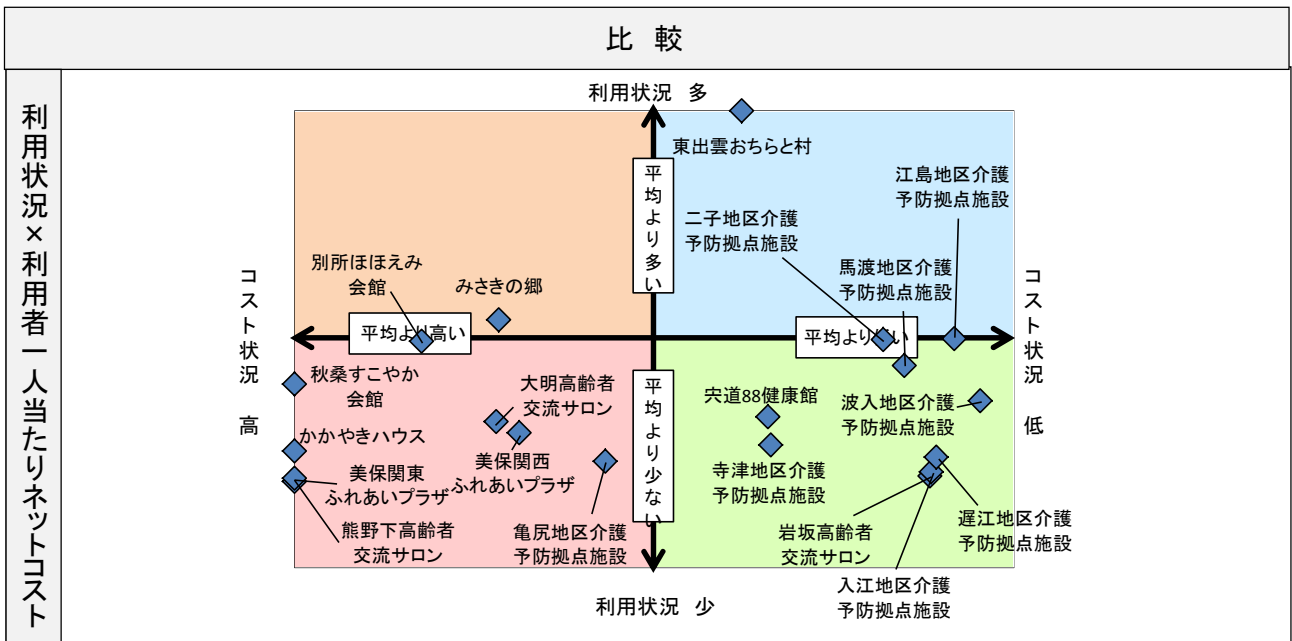
③コスト状況

年間トータルコストは、4,272万円そのうち施設にかかるコストは1,267万円、運営にかかるコストは951万円、減価償却費相当額は2,054万円となっています。一方、収入は、92万円あり、4,180万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用状況が少なく、コストも高くなっている施設も多くなっている。
- 市内に20箇所設置されており、設置地域に偏りが見られる。
- 公民館等の集会施設と機能の重複設置が見られる地域がある。

6. 子育て支援施設

(1) 幼稚園・幼保園・保育所

①施設概要

旧松江市の幼稚園については、地域の幼稚園から小学校へとつながっていく、幼小一貫した教育体制の整備を原則として、幼稚園を小学校と併設してきた経緯があります。一方、旧八束郡内では、統廃合が進み、現在の設置箇所数は、八雲町1、玉湯町2、鹿島町3、東出雲町3となっています。また、民間幼稚園をみると、市立29箇所（幼保園含む）に対して、5箇所となっています。

保育所については、直営保育所14施設（橋北地域2、橋南地域1、八束町1、八雲町1、鹿島町2、島根町2、美保関町2、東出雲町3）及び民間の保育所53施設（橋北地域22、橋南地域26、玉湯町2、八雲町2、東出雲町1）となっています。

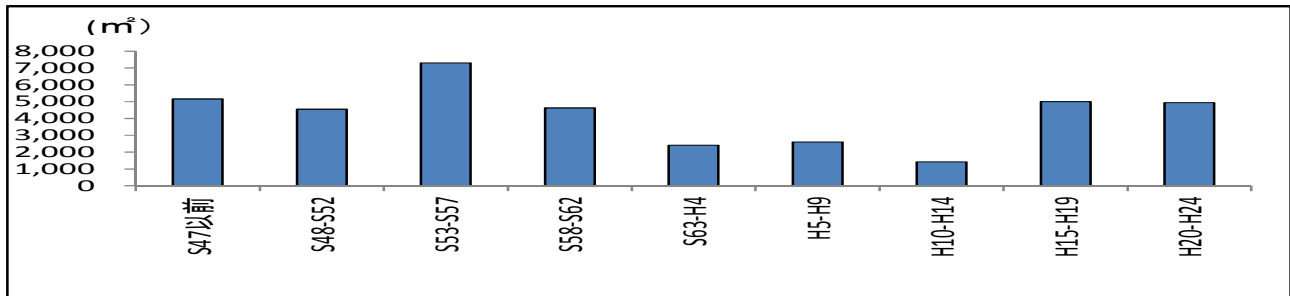
	施設数	施設名
幼稚園	27	母衣幼稚園、城北幼稚園、内中原幼稚園、中央幼稚園、雑賀幼稚園、津田幼稚園、古志原幼稚園、川津幼稚園、朝酌幼稚園、竹矢幼稚園、忌部幼稚園、大庭幼稚園、生馬幼稚園、持田幼稚園、古江幼稚園、本庄幼稚園、大野幼稚園、秋鹿幼稚園、恵曇幼稚園、佐太幼稚園、講武幼稚園、八雲幼稚園、玉湯幼稚園、大谷幼稚園、意東幼稚園、揖屋幼稚園、出雲郷幼稚園
幼保園	2	幼保園のぎ、しんじ幼保園
保育所	14	末次保育所、城東保育所、白湯保育所、御津保育所、美保関西保育所、美保関東保育所、八雲保育園、恵曇保育所、マリン保育所、野波保育所、意東保育園、揖屋保育園、出雲郷保育園、やつか保育所

※内中原幼稚園と末次保育所を統合した城西幼保園が平成25年度に完成しています。

②建物状況

本市では、幼稚園、保育所、幼保園を43施設、37,947㎡を保有しています。

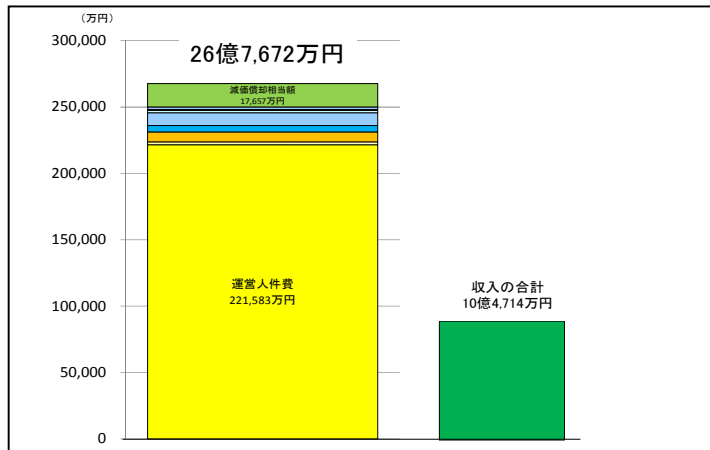
図表 建築年別延床面積



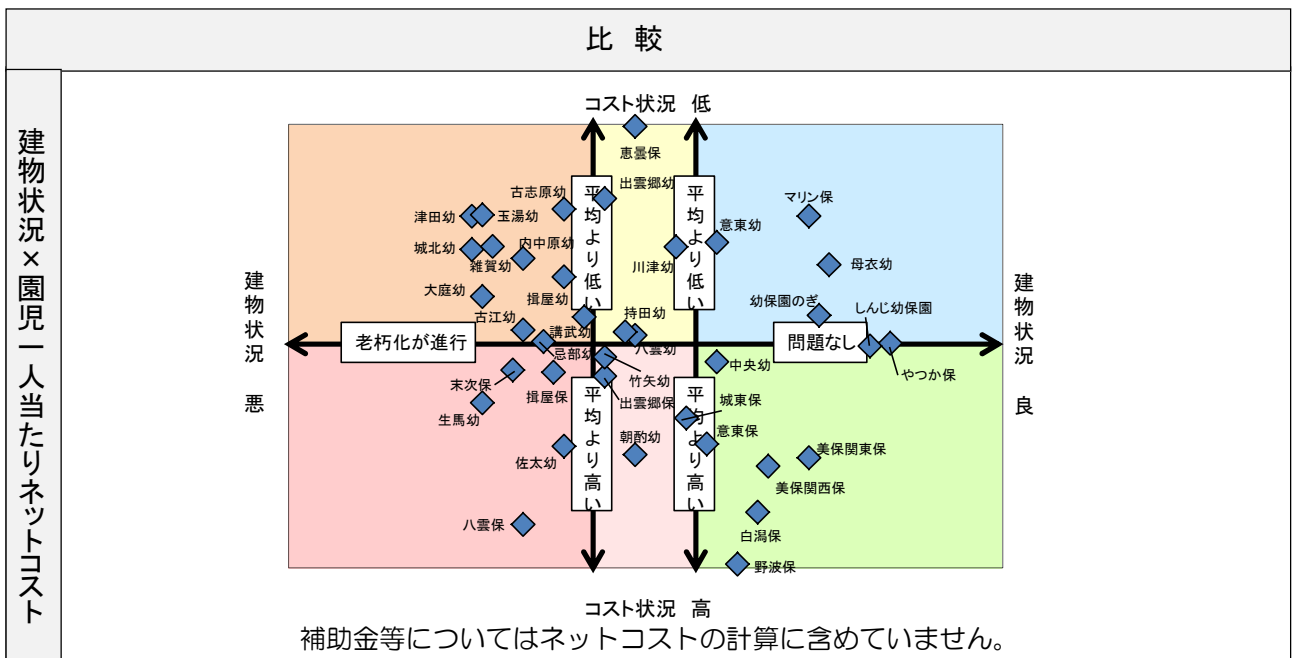
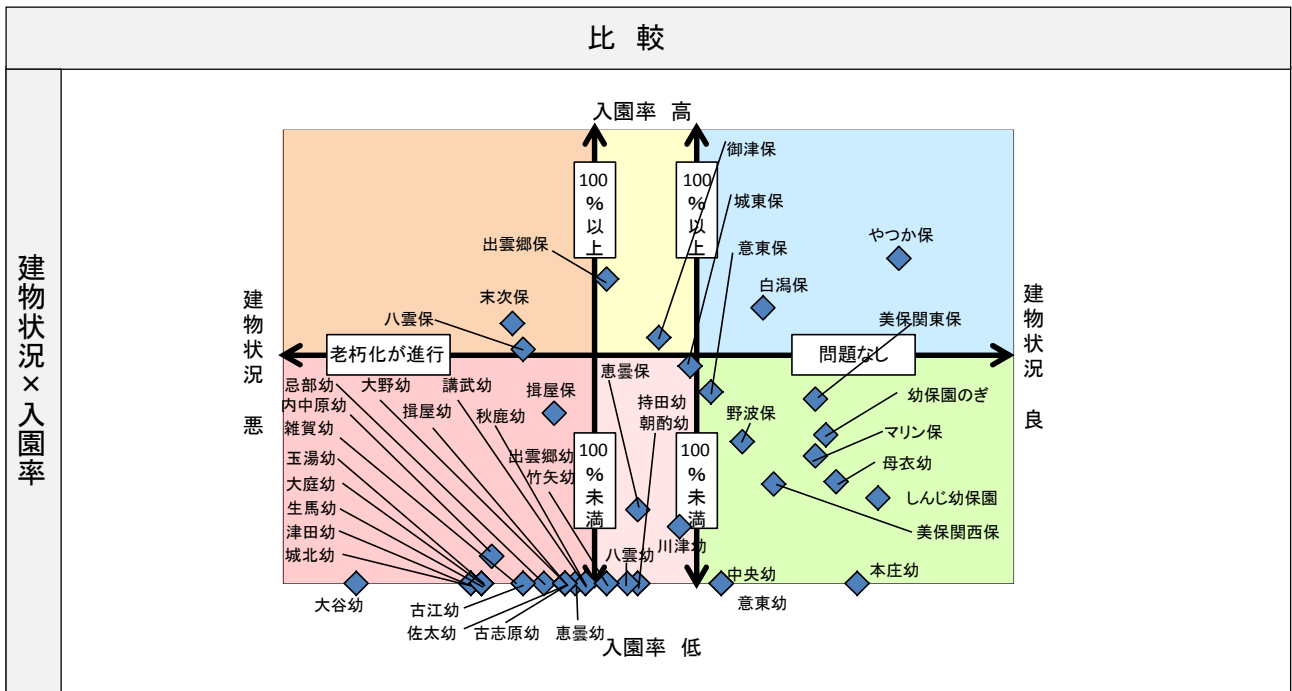
③コスト状況

年間トータルコストは、26億7,672万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億8,796万円、事業運営にかかるコストは23億1,219万円、減価償却費相当額は1億7,657万円となっています。一方、収入は、10億4,714万円であり、16億2,958万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 幼稚園の入園率が低くなっている一方、保育所の入園率が高くなっており、利用者のニーズとのギャップがある。
- 老朽化が進んでいる施設が多くなっている。

(2) 児童クラブ

①施設概要

児童クラブは、保護者が労働等で昼間家庭にいない、主に小学校低学年に対して、身近な社会施設を利用し、適切な遊びや集団生活の場を提供し、健全な育成を図るために整備された施設です。

主として、小学校の余裕教室等の利用や敷地内の専用施設で運営しています。運営は、各地区に設けられた運営委員会等を指定管理者に指定し、事業委託して実施しています。

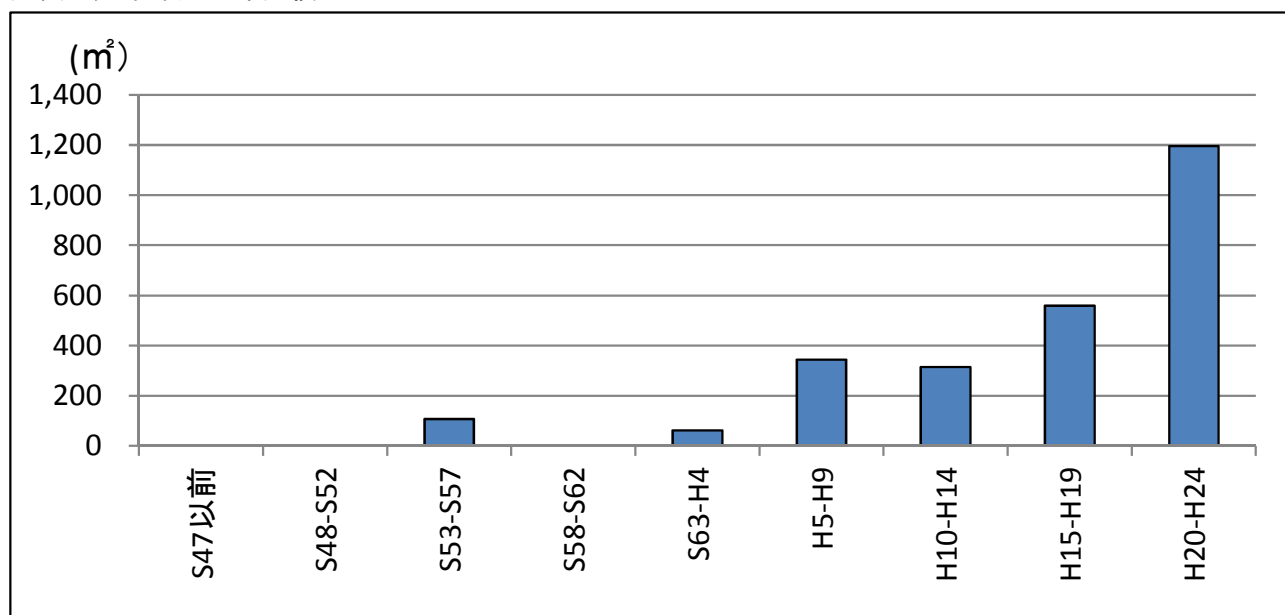
地域	施設数	施設名
橋北地域	16	持田児童クラブ、川津児童クラブ、城西地区児童クラブ、本庄児童クラブ、城北児童クラブ、朝酌児童クラブ、城東地区児童クラブ、城西地区第2児童クラブ、川津第2児童クラブ、比津児童クラブ、比津第2児童クラブ、生馬児童クラブ、大野児童クラブ、秋鹿児童クラブ、古江地区児童クラブ、城西地区児童クラブ分室
橋南地域	12	雑賀児童クラブ、古志原地区児童クラブ、古志原地区第2児童クラブ、中央児童クラブ、中央第2児童クラブ、竹矢児童クラブ、乃木児童クラブ、乃木第2児童クラブ、大庭地区児童クラブ、大庭地区第2児童クラブ、津田児童クラブ、いんべ児童クラブ
玉湯地域	1	玉湯児童クラブ
東出雲地域	4	出雲郷児童クラブ、出雲郷第2児童クラブ、揖屋児童クラブ、意東児童クラブ
鹿島地域	1	恵曇児童クラブ
宍道地域	2	しんじっ子クラブ(保育所、宍道)、きまちみちくさクラブ
八雲地域	2	やくも児童クラブ、やくも児童クラブ分室
美保関地域	1	美保関児童クラブ
八束地域	1	八束っ子児童クラブ

※竹矢第2児童クラブ、城西地区第3児童クラブが平成25年度に完成しています。

②建物状況

児童クラブについては、古い建物の割合は小さくなっています。また、小学校等に併設されているものもあります。

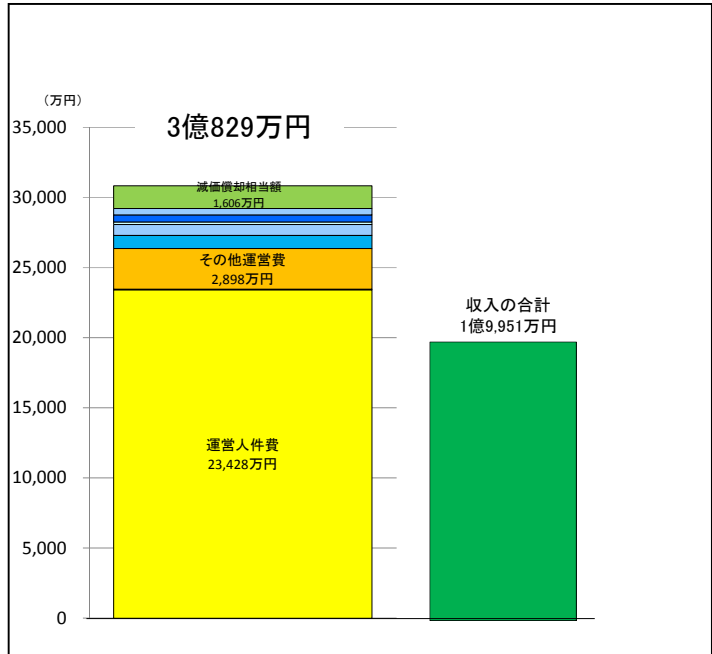
図表 建築年別延床面積



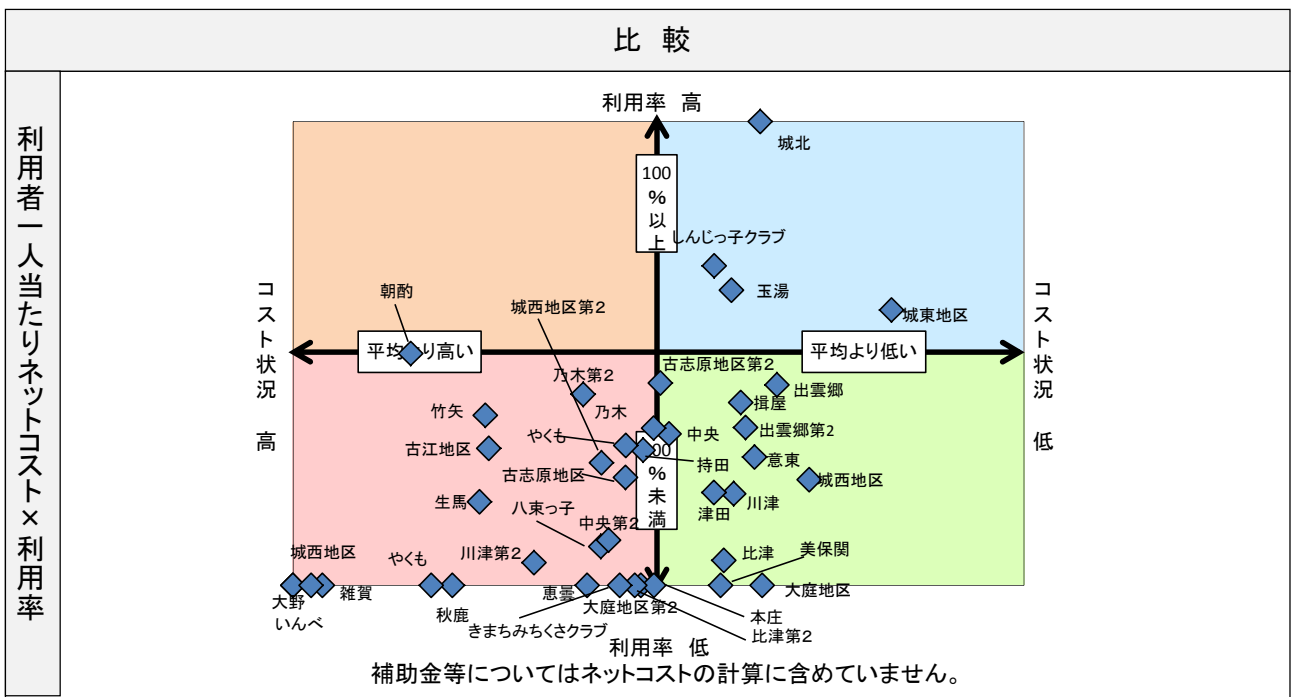
③コスト状況

年間トータルコストは、3億829万円であり、そのうち施設にかかるコストは2,863万円、事業運営にかかるコストは2億6,360万円、減価償却費相当額は1,606万円となっています。一方、収入は、1億9,951万円であり、1億878万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 利用率が低く、コストが高くなっている施設がある。
- 今後も、利用ニーズが増えることが見込まれる。

(3) 児童館等

①施設概要

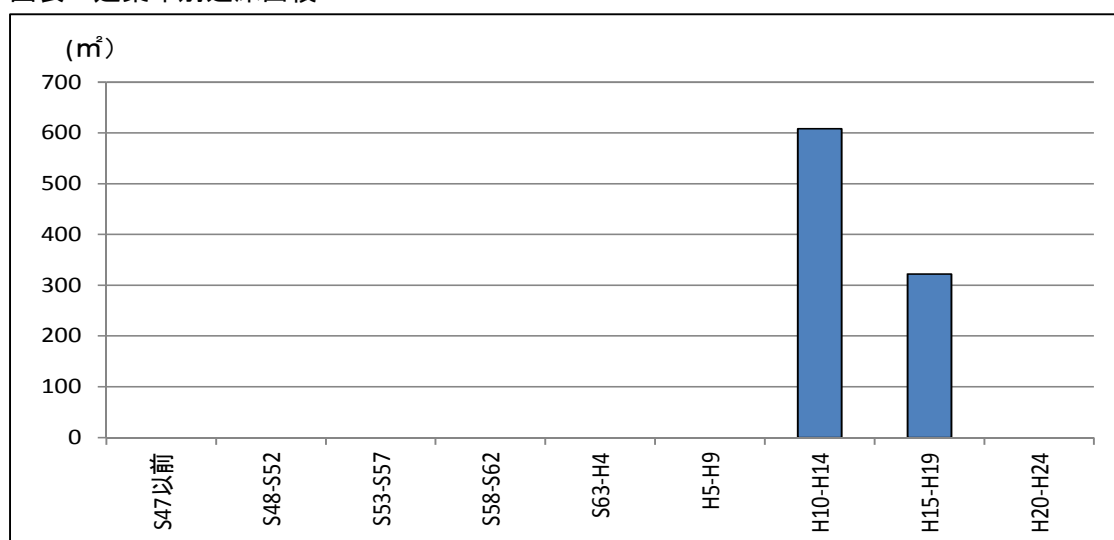
地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とした児童福祉施設等であり、地域別の設置状況は、旧松江市2箇所、八雲町1箇所となっています。

No.	施設名	地域名	延床面積(m ²)	建築年	施設概要
1	魚瀬世代間交流会館	橋北	209.24	H14年	世代間交流会館(旧児童館)
2	八雲児童センター	八雲	399.00	H11年	八雲児童センター(どんぐり館)は児童館・児童クラブ・障がい者活動支援施設の複合施設
3	東津田児童館	橋南	322.00	H19年	児童館

②建物状況

建物は比較的新しいものとなっています。

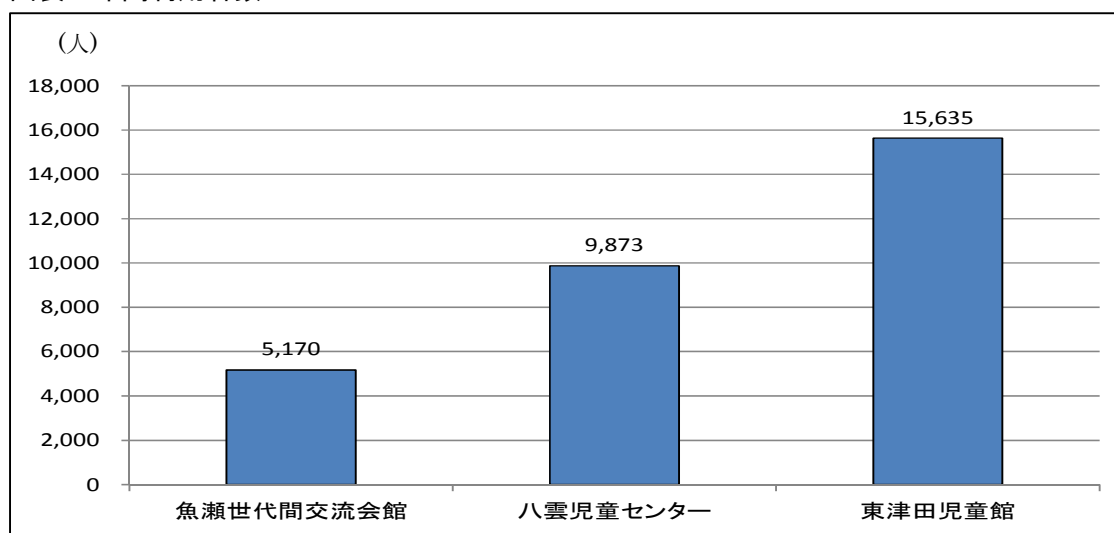
図表 建築年別延床面積



③利用状況

全ての施設を無料で利用できるようになっています。

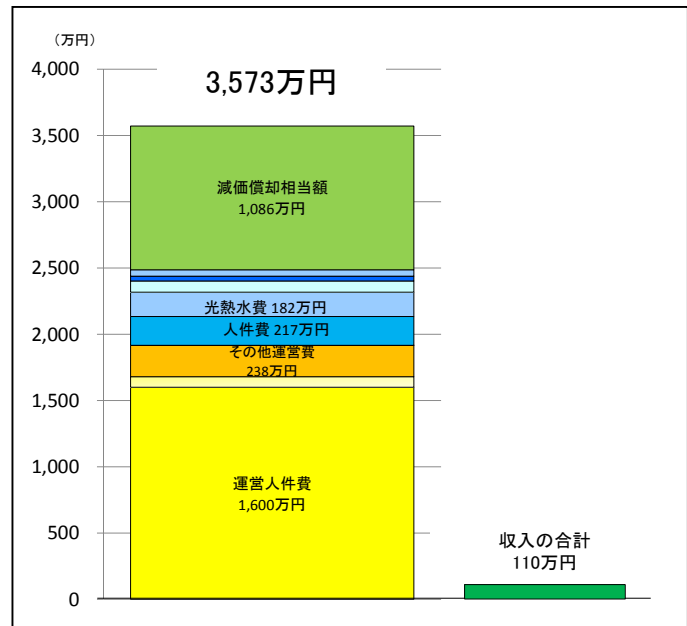
図表 年間利用者数



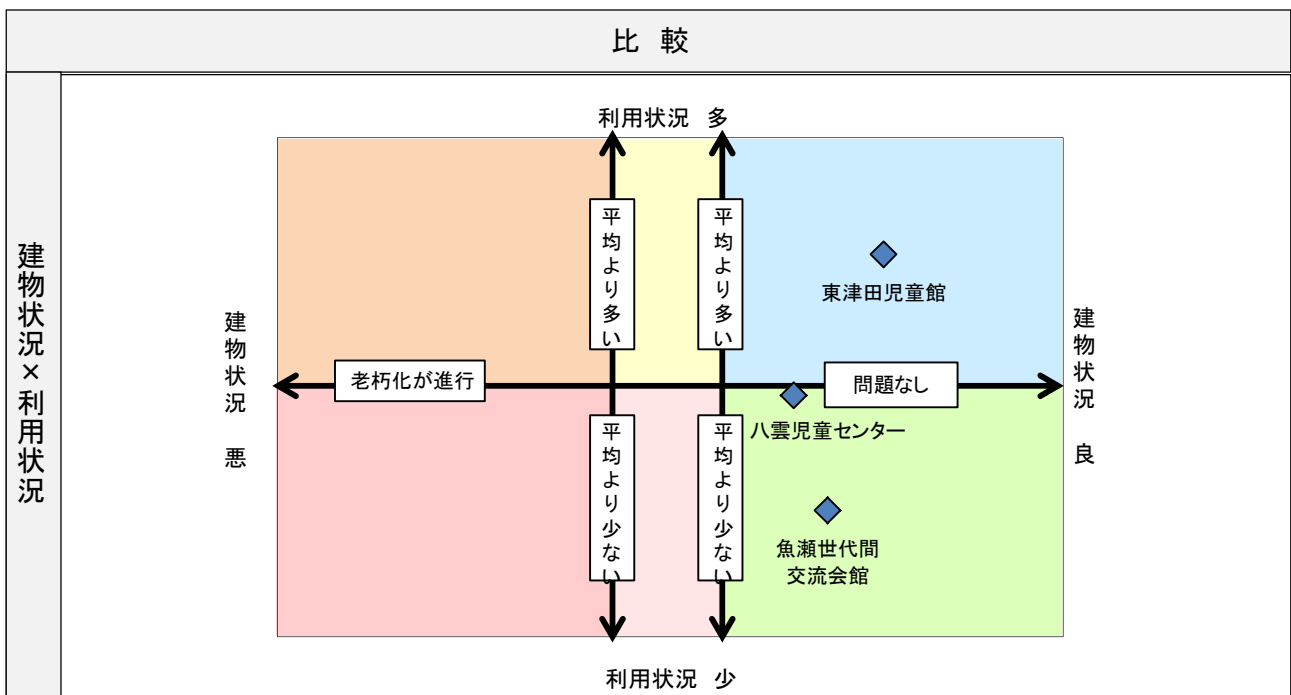
④コスト状況

年間トータルコストは、3,573万円であり、そのうち施設にかかるコストは569万円、事業運営にかかるコストは1,918万円、減価償却費相当額は1,086万円となっています。一方、収入は、110万円であり、3,463万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



⑤現状比較



⑥現状及び課題

- 各施設の利用状況に大きな差がある。

7. 診療施設

(1) 診療所

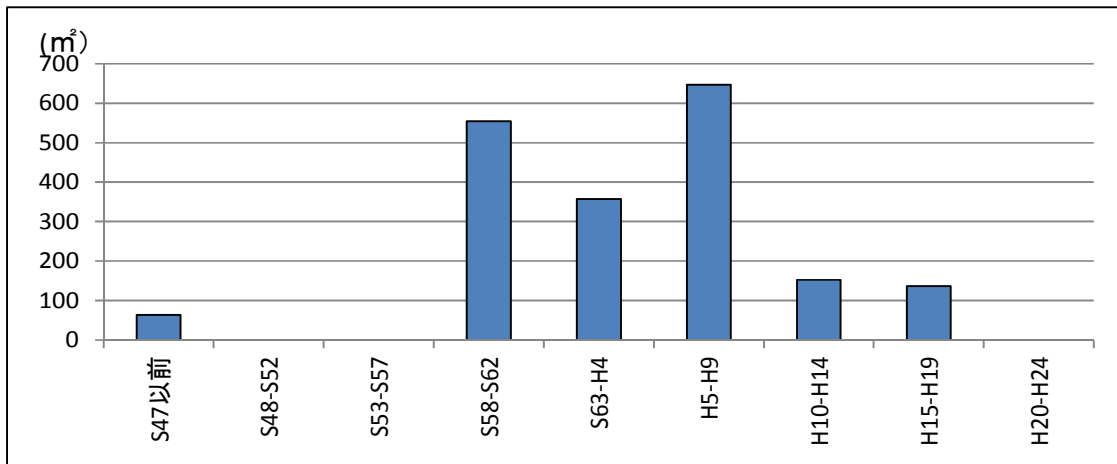
①施設概要

市営診療所は、鹿島町、島根町、八雲町、宍道町に設置されています。市は、施設と設備の提供及び修繕等のハード管理を担当し、診療経費や光熱水費の支払いや診療報酬の収受は病院側の経理となっています。

地域	施設数	施設名
鹿島	2	講武診療所、鹿島歯科診療所
島根	2	野波診療所、野波歯科診療所
八雲	2	岩坂診療所、熊野診療所
宍道	1	来待診療所

②建物状況

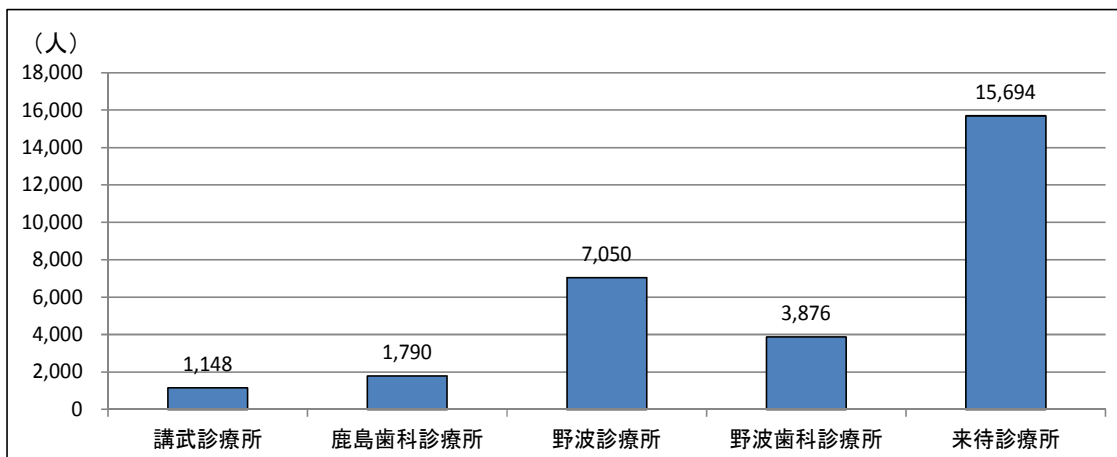
図表 建築年別延床面積



③利用状況

来待診療所は年間1万5千人超に利用されている一方で、講武診療所は1,000人程度の利用となっており、診療所により利用者数が大きく異なります。

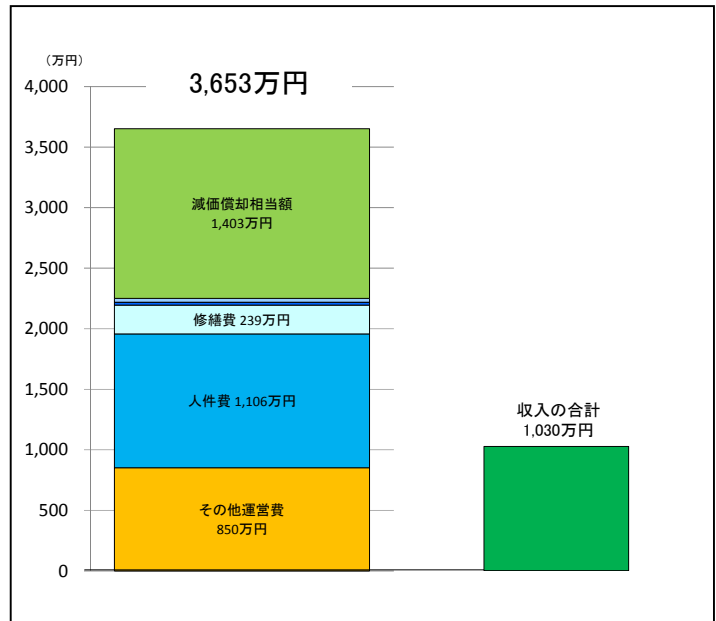
図表 年間利用者数



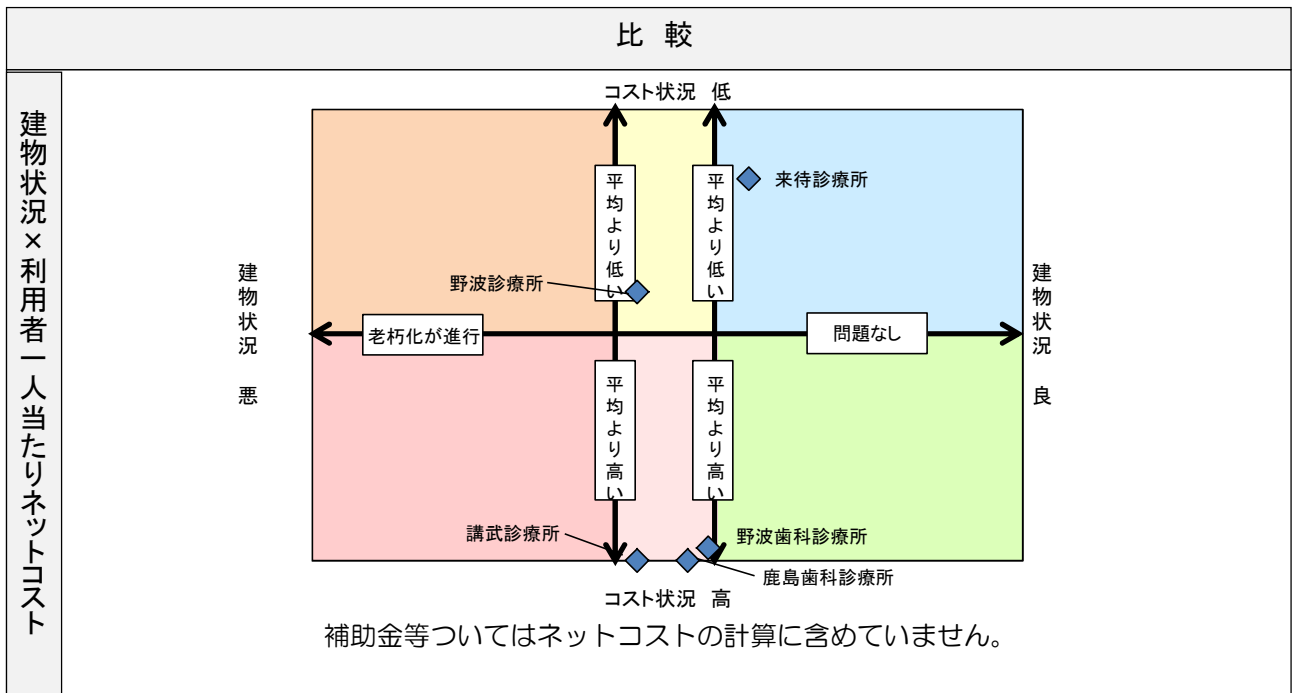
④コスト状況

年間トータルコストは、3,653 万円であり、そのうち施設にかかるコストは 1,399 万円、事業運営にかかるコストは 851 万円、減価償却費相当額は 1,403 万円となっています。一方、収入は、1,030 万円であり、2,623 万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



⑤現状比較



⑥現状及び課題

- 施設により、利用状況と利用者 1 人当たりのコストに大きな違いがある。
- 診療所は建物及び医療設備の老朽化が進んでおり、今後、改修が増えることが見込まれる。

8. 行政系施設

(1) 本庁舎、支所

①施設概要

本庁舎は、昭和37年に建設され、現在、築後50年を迎えました。その間、行政事務のボリュームが大きくなるに従い、近隣の建物を買収して複数の別館を有しています。また、平成17年の市町村合併を機に西棟を増築するとともに、防災の拠点施設としています。

支所は、住民に身近な存在として、地域の特徴に応じた、観光・産業振興を図るとともに、住民票の発行、福祉関係の書類の受付、道路等の現場維持管理等を行っています。

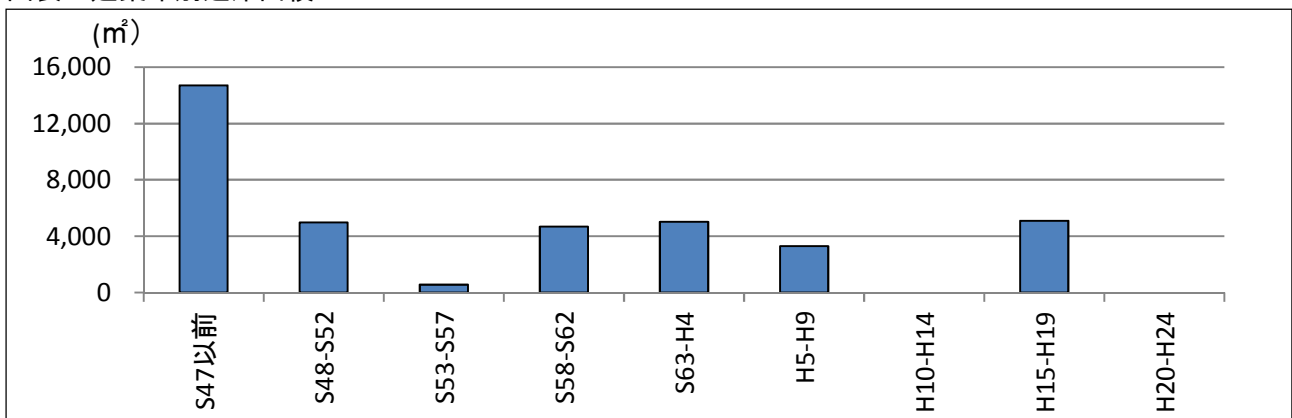
	施設名	延床面積 (㎡)
本庁舎	市庁舎本館、市庁舎本館西棟、市庁舎別館、市庁舎第2別館、市庁舎第4別館、環境センター	20,439.00
支所	鹿島支所、島根支所、美保関支所、八雲支所、玉湯支所、宍道支所、八束支所、東出雲支所	20,096.11

※八雲支所、八雲公民館、アルバホールは、一体となった複合施設として平成25年度に完成しています。

②建物状況

老朽化が進んでいる建物が多くなっています。特に、本庁舎は、昭和37年に建設され、日常的な設備の不具合、建物の毀損等が多発しています。

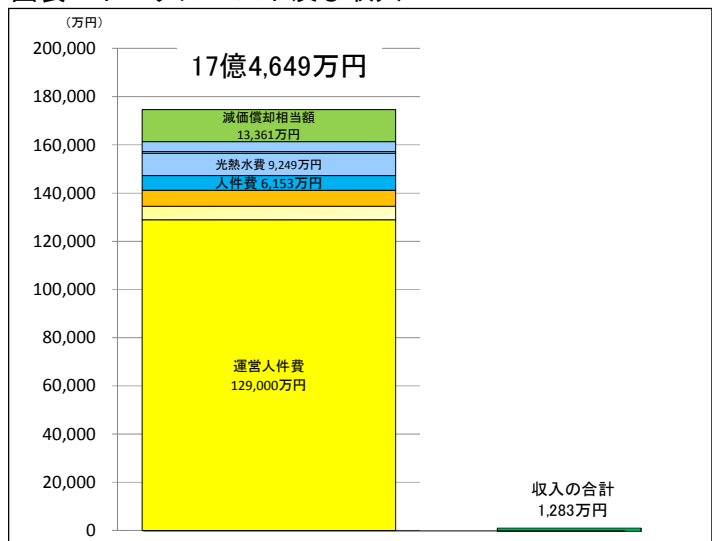
図表 建築年別延床面積



③コスト状況

年間トータルコストは、17億4,649万円であり、そのうち施設にかかるコストは2億226万円、事業運営にかかるコストは14億1,062万円、減価償却費相当額は1億3,361万円となっています。一方、収入は、1,283万円であり、17億3,366万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状及び課題

- 本庁舎は、本館8,073㎡ほか6棟に分散（計20,439㎡）しており利用者の便が悪い。
- 西棟（平成17年築、2,837㎡）を除き、全てが築30年以上経過しており老朽化が進んでいる。特に、本庁舎本館は、築後50年以上を経過して老朽化が進んでいる。
- 旧町村の8支所の建物が現存しており、合計で20,096㎡の延面積となっており、本庁舎とほぼ同じ面積がある。
- 8支所のうち、5箇所が30年以上経過して老朽化が進んでいる。

⑤老朽化している本庁舎の整備について

（ア）庁舎の現状

建物	建築年	構造	延床面積	耐震診断	
				実施年次	Is 値
本館本棟	昭和37年	鉄筋コンクリート3F	5,107㎡	平成19年度	0.54
本館北棟	昭和37年	鉄筋コンクリート3F	2,049㎡	平成19年度	0.54
別館	昭和55年	鉄筋コンクリート5F	3,619㎡	平成20年度	0.48
旧別館	昭和53年	鉄筋コンクリート3F	1,004㎡	平成20年度	0.73
第2別館	昭和51年	鉄筋コンクリート5F	690㎡	平成20年度	0.42
第4別館	昭和46年	鉄筋コンクリート6F	3,018㎡	平成19年度	0.29
本館西棟	平成17年	鉄筋コンクリート5F	2,837㎡	未実施	新耐震基準

（イ）現庁舎の問題点

- ①築50年以上を経過し老朽化が著しく、建築基準法第12条点検においても危険箇所があることが指摘されている。（壁や天井のコンクリートの剥離・落下が発生している。）
- ②電気・空調・給排水設備等についても建設当初のものがほとんどそのまま使用され、根本的な設備更新がされないまま、対症療法的な修繕や改修を繰り返しているため、設備の本来の機能が果たされていない。また、現行法令に適合していない設備も存在しており、これらの設備を更新すると芋づる式にほぼすべての建築設備を更新する必要が生じる。
- ③耐震性能が低く、倒壊の恐れがある。
- ④庁舎が分散しており、来庁者にも分かりにくいなど、非効率な行政サービスとなっている。
- ⑤増改築を繰り返してきたことから、エレベーターで行けないフロアがあるなど、完全なバリアフリー化の実現が困難である。
- ⑥データ化されていない住民情報が多く庁舎内に存在しているため、災害発生時に庁舎が損壊した場合、そうした住民情報まで失われる恐れがある。

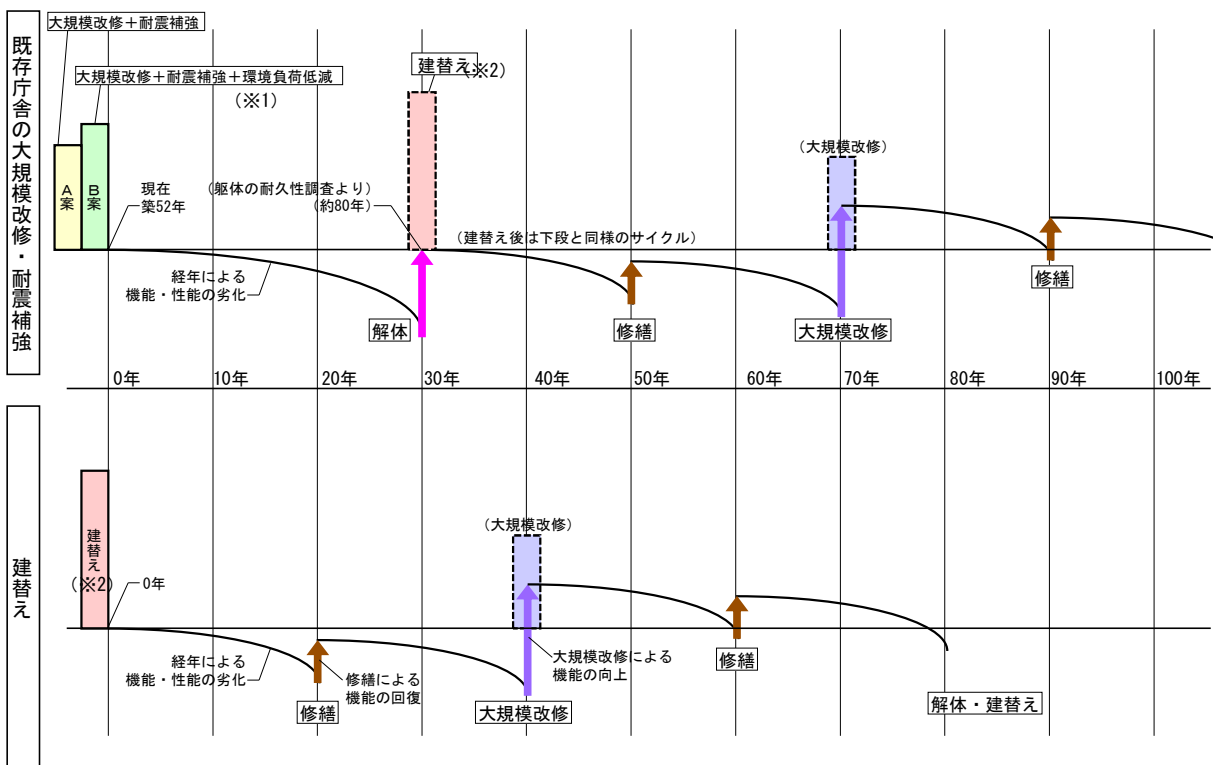
（ウ）市庁舎に求められるもの

- ①安心・安全の拠点として市民の暮らしを守る庁舎であること。
- ②すべての人に分かりやすく、利用しやすい庁舎であること。
- ③行政サービスを機能的・効率的に提供できる庁舎であること。
- ④地球環境にやさしい環境配慮型庁舎であること。
- ⑤市民が気軽に立ち寄ることのできる、魅力ある庁舎であること。

(エ) 整備の考え方について

- ①庁舎は、地震等の災害が発生した時には、市民を守る司令塔にならなければならない、市民が避難したり、自衛隊、消防隊、ボランティアの人達が全国から集まってくることを考えると、有事に備え、最優先で安全を確保しなければならない施設である。
- ②一般的には、学校などを優先的に改修・建替えしているのに対して、庁舎の改修・建替えは先送りされ、公共施設の中でも一番劣化が進んでいるのが実態である。実際、東日本大震災の時も学校が倒壊した事例はなかったが、庁舎は、大小合わせると38件、一番遠いところでは、神奈川県藤沢市の庁舎が倒壊している。
- ③公共施設白書の試算では、約30年後に施設の改修や建替えといった更新のピークが来ると予想されることから、向こう30年間のトータルコストを最小化するという視点に立って整備方法を選択する必要がある。単純に目先の費用が安い方を選択して、結果的に財政状況が一段と厳しい時期に更なる投資を行うことのないよう慎重に判断しなければならない。

(オ) ライフサイクルでの観点



※1 環境負荷低減とは、断熱性能の向上、太陽光発電の導入、高効率・高耐久機器の導入等を想定

※2 建替え時の建物整備レベルは、高耐久、長寿命、各部位の整備レベルUPを想定

(カ) 庁舎整備に関する「松江市公共施設適正化基本方針策定委員会」からの意見

前記の現状及び問題点等から建替えの時期であると考察するが、躯体設備の性能に関する各種調査の結果を踏まえて総合的に判断すべきである。

(キ) 庁舎整備に関する市としての考え方

委員会からいただいた提言及び建築機械設備の現況調査や建物の残存耐用年数調査などの結果を総合的に検討したうえで、庁舎整備の方向性について判断する。

(2) 消防署・出張所

①施設概要

消防署は、松江市の北部地域（旧松江市橋北地区、鹿島町、島根町、美保関町、八束町）を管轄する北消防署と南部地域（旧松江市橋南地区、宍道町、玉湯町、八雲町、東出雲町）を管轄する南消防署に分かれており、消防本部と北消防署は併設しています。

地域	施設名
北部地域	北消防署、秋鹿出張所、鹿島出張所、島根出張所、美保関出張所、八束出張所
南部地域	南消防署、宍道分署、湖南出張所、八雲出張所、東出雲出張所

※平成25年6月に公表した「署所再編実施後期計画（修正版）の概要」を基に、「2署4分署1出張所」に再編し、消防体制を充実することとしています。

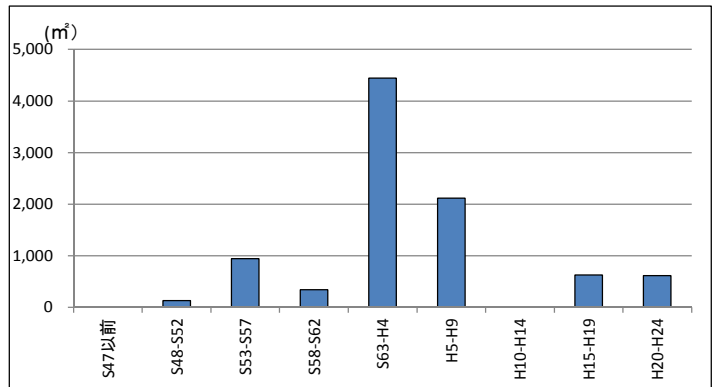
※北消防署東部分署は、美保関出張所と八束出張所を統廃合して、平成25年4月1日に供用開始しています。

※島根出張所は、平成26年3月31日に閉所しています。

②建物状況

消防署の建物の老朽化が進んでおり、今後、修繕費等の増加が見込まれます。

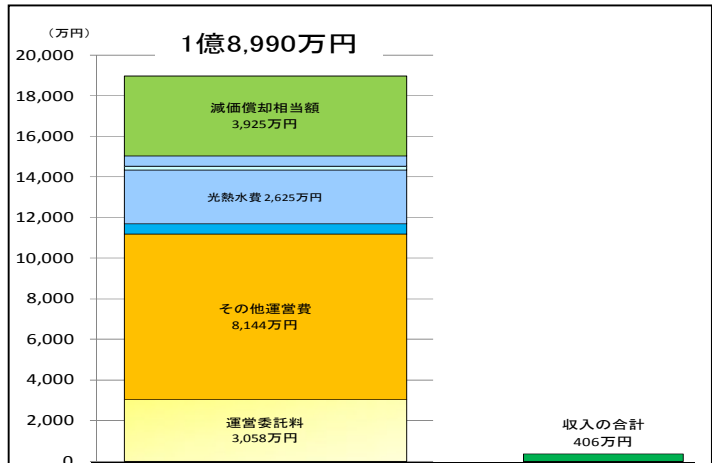
図表 建築年別延床面積



③コスト状況

年間トータルコストは、1億8,990万円であり、そのうち施設にかかるコストは3,863万円、事業運営にかかるコストは1億1,202万円、減価償却費相当額は3,925万円となっています。一方、収入は、406万円であり、1億8,584万円の財政負担が生じています。（運営系人件費は除く）

図表 トータルコスト及び収入



④現状及び課題

- 消防署の建物の老朽化が進んでおり、今後修繕費等の増加が見込まれる。

9. 学校教育系施設

(1) 学校

①施設概要

学校施設は、小学校が34校18.0万㎡、中学校が16校12.5万㎡、高等学校を1校0.8万㎡、延51校31.3万㎡を保有しています。

図表 地域別施設概要

	地域	校数	延床面積		学級数		児童数・生徒数	
			総数	1校当たり平均	総数	1校当たり平均	総数	1校当たり平均
小学校	橋北	12校	61,948㎡	5,162㎡	167学級	14学級	3,938人	328人
	橋南	8校	55,229㎡	6,904㎡	145学級	18学級	3,898人	487人
	鹿島	3校	13,686㎡	4,562㎡	23学級	8学級	297人	99人
	島根	1校	4,501㎡	4,501㎡	8学級	8学級	152人	152人
	美保関	1校	4,733㎡	4,733㎡	9学級	9学級	188人	188人
	八束	1校	4,082㎡	4,082㎡	9学級	9学級	174人	174人
	宍道	2校	10,846㎡	5,423㎡	22学級	11学級	473人	237人
	玉湯	2校	5,828㎡	2,914㎡	19学級	10学級	299人	150人
	八雲	1校	6,061㎡	6,061㎡	14学級	14学級	402人	402人
	東出雲	3校	13,244㎡	4,415㎡	42学級	14学級	1,062人	354人
小学校計	34校	180,158㎡	5,299㎡	458学級	13学級	10,883人	320人	
中学校	橋北	4校	33,395㎡	8,349㎡	60学級	15学級	1,917人	479人
	橋南	4校	38,111㎡	9,528㎡	64学級	16学級	2,013人	503人
	鹿島	1校	7,869㎡	7,869㎡	8学級	8学級	162人	162人
	島根	1校	5,946㎡	5,946㎡	5学級	5学級	76人	76人
	美保関	1校	8,665㎡	8,665㎡	7学級	7学級	128人	128人
	八束	1校	3,841㎡	3,841㎡	5学級	5学級	107人	107人
	宍道	1校	6,086㎡	6,086㎡	10学級	10学級	251人	251人
	玉湯	1校	5,895㎡	5,895㎡	8学級	8学級	156人	156人
	八雲	1校	5,285㎡	5,285㎡	8学級	8学級	165人	165人
	東出雲	1校	9,676㎡	9,676㎡	17学級	17学級	497人	497人
中学校計	16校	124,769㎡	7,798㎡	192学級	12学級	5,472人	342人	
高校	松江市立女子高校	1校	7,604㎡	7,604㎡	12学級	-	335人	335人
合計	51校	312,531㎡		662学級		16,690人		

小・中学校統廃合の経過

【小学校】

統合年	統合前学校名			統合学校名
H 7	白湯小学校	朝日小学校		中央小学校
H 13	美保関小学校	森山小学校	福浦小学校	美保関東小学校
H 13	七類小学校	片江小学校		美保関北小学校
H 17	大芦小学校	加賀小学校	野波小学校	島根小学校
H 18	美保関東小学校	千酌小学校	美保関北小学校	美保関小学校
H 22	中島小学校	秋鹿小学校		秋鹿小学校
H 23	長江小学校	古江小学校		古江小学校

【中学校】

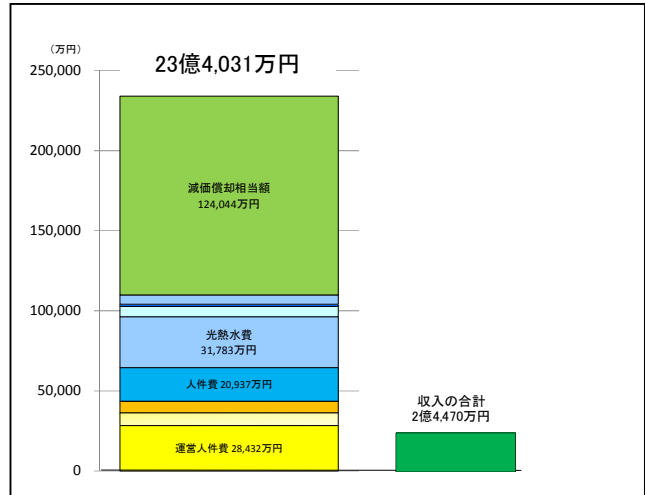
統合年	統合前学校名			統合学校名
H 6	古江中学校	秋鹿中学校	大野中学校	湖北中学校
H 7	美保関北中学校	美保関南中学校		美保関中学校
H 16	島根中学校	野波中学校		島根中学校

②コスト状況

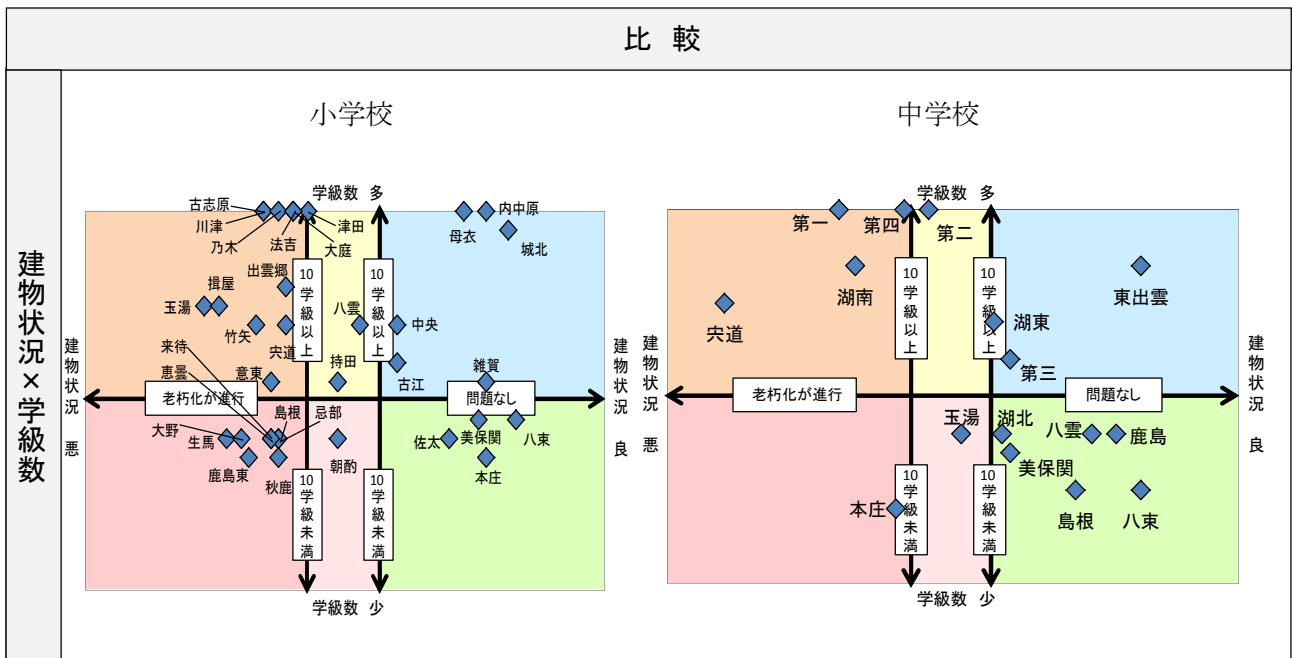
年間トータルコストは、23億4,031万円であり、そのうち施設にかかるコストは6億6,372万円、事業運営にかかるコストは4億3,615万円、減価償却費相当額は12億4,044万円となっています。一方、収入は、2億4,470万円であり、20億9,561万円の財政負担が生じています。

(小中学校の教職員人件費は除く)

図表 トータルコスト及び収入



③現状比較



④現状及び課題

- 保有学級数では、小中学校とも50%以上が小規模校となっている。
- 地域ごとにみると、鹿島、島根、美保関、八東、宍道、玉湯等の地域で小規模校が多く、地域によって差がある。
- 築30年以上の建物が約13.9万㎡（約45%）となっており、他の公共施設に比べ老朽化が進んでいる。

(5) 給食センター

①施設概要

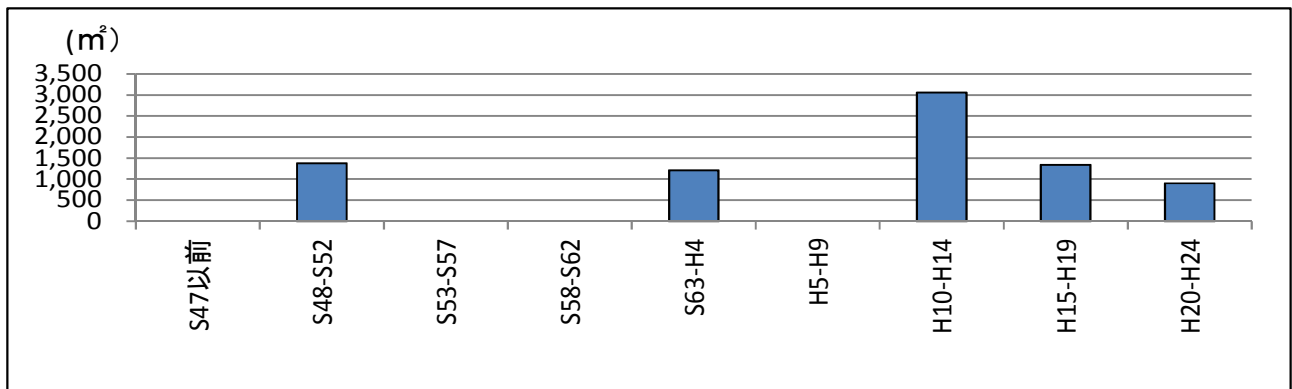
地域別の箇所数は、旧松江市3箇所、支所管内は、それぞれ、鹿島町1、島根町1、宍道町1、八雲町1、東出雲町1箇所となっています。なお、玉湯については、小学校及び中学校の給食室で調理を行っています。

施設名	地域	延床面積(m ²)	建築年	施設概要
南学校給食センター	橋南	1,381.00	S52年	5,600食の調理能力を持つ給食センター
北学校給食センター	橋北	1,210.00	H2年	5,600食の調理能力を持つ給食センター
西学校給食センター	橋北	1,421.37	H11年	5,000食の調理能力を持つ給食センター
鹿島学校給食センター	鹿島	899.00	H20年	1,300食の調理能力を持つ給食センター
島根学校給食センター	島根	563.76	H15年	400食の調理能力を持つ給食センター
八雲学校給食センター	八雲	946.00	H14年	1,000食の調理能力を持つ給食センター
宍道学校給食センター	宍道	694.00	H11年	1,200食の調理能力を持つ給食センター
東出雲学校給食センター	東出雲	778.00	H15年	2,000食の調理能力を持つ給食センター

②建物状況

老朽化が進んでいる建物もありますが、比較的新しい建物が多くなっています。

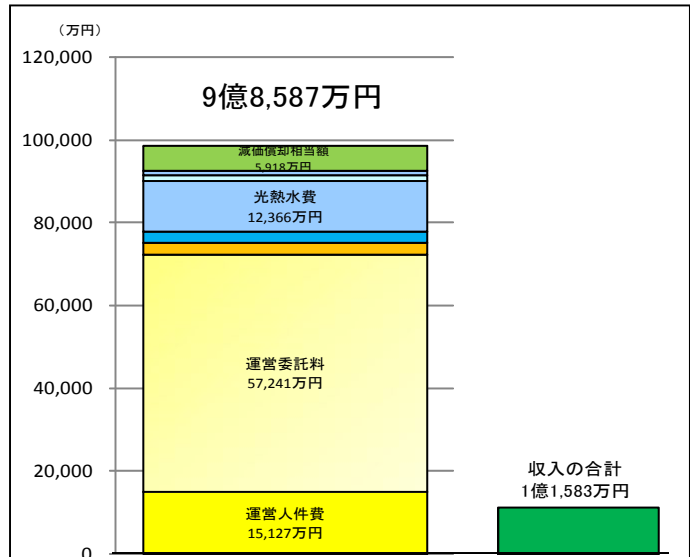
図表 建築年別延床面積



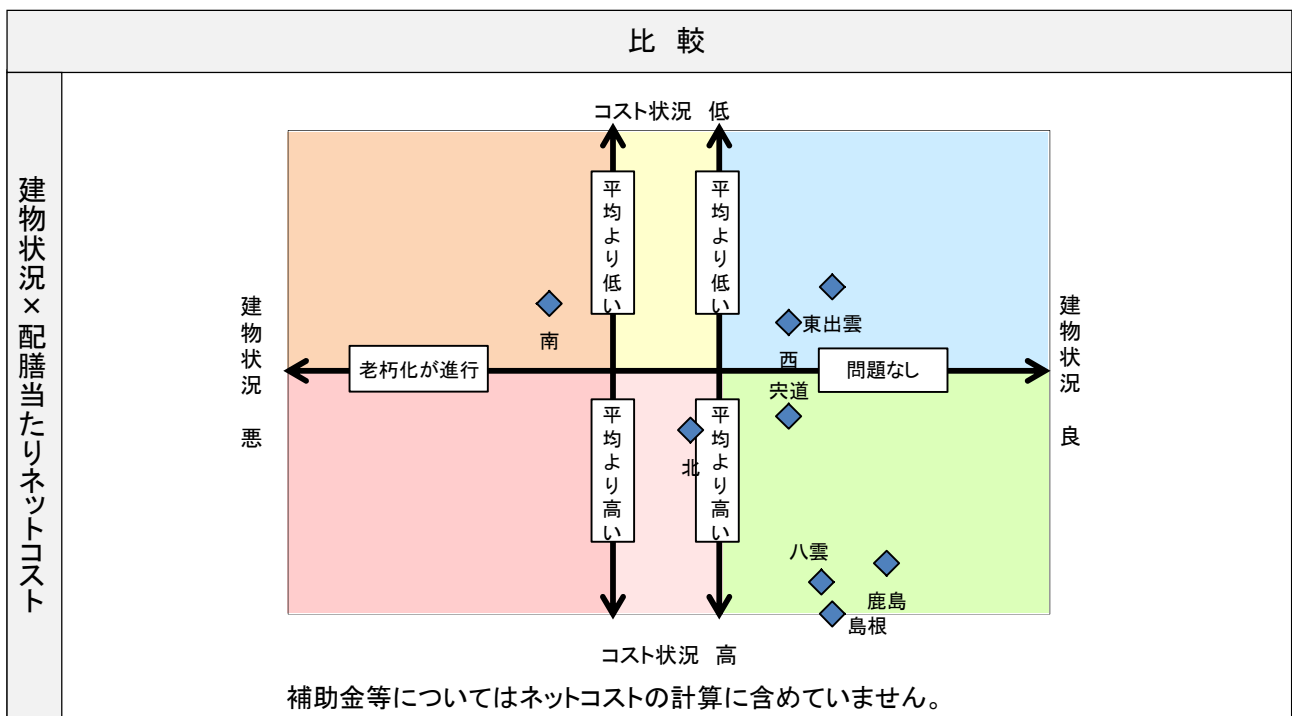
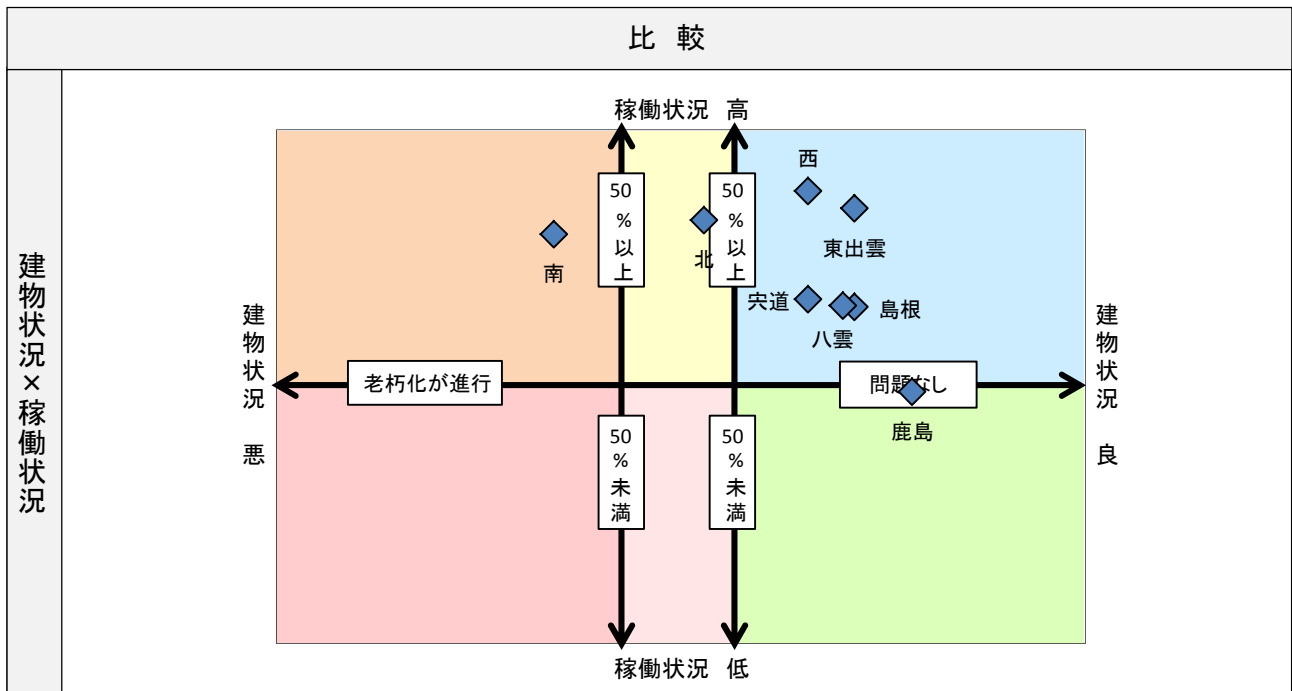
③コスト状況

年間トータルコストは、9億8,587万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億7,521万円、事業運営にかかるコストは7億5,148万円、減価償却費相当額は5,918万円となっています。一方、収入は、1億1,583万円であり、8億7,004万円の財政負担が生じています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



⑤現状及び課題

- 施設により、稼働率や配膳当たりのコストについて差がある。
- 比較的新しい施設が多い。

10. 公営住宅

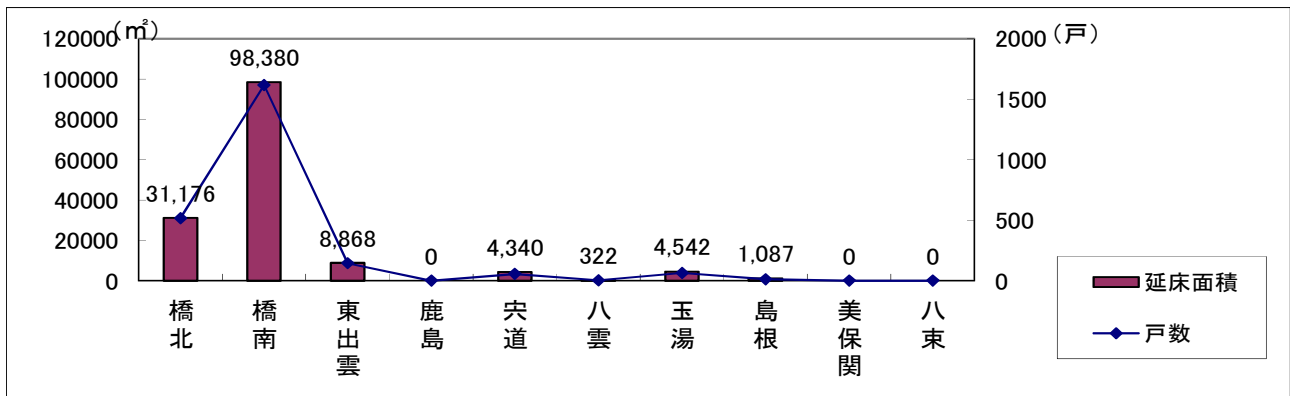
①施設概要

市営住宅の供給戸数は約2,400戸で、県営住宅、雇用促進住宅を合わせると松江市で5,000戸の供給量があります。一方で、市内には官民合わせて約6,000戸の空き家があります。

地域的には、橋南地域に多く設置しており、鹿島町、美保関町及び八束町には設置していません。公営住宅については、指定管理制度をとっており、島根県住宅供給公社へ管理を委託しています。

なお、現在、新規整備は行わず、長寿命化や民間住宅の借上げ方式へ転換しています。

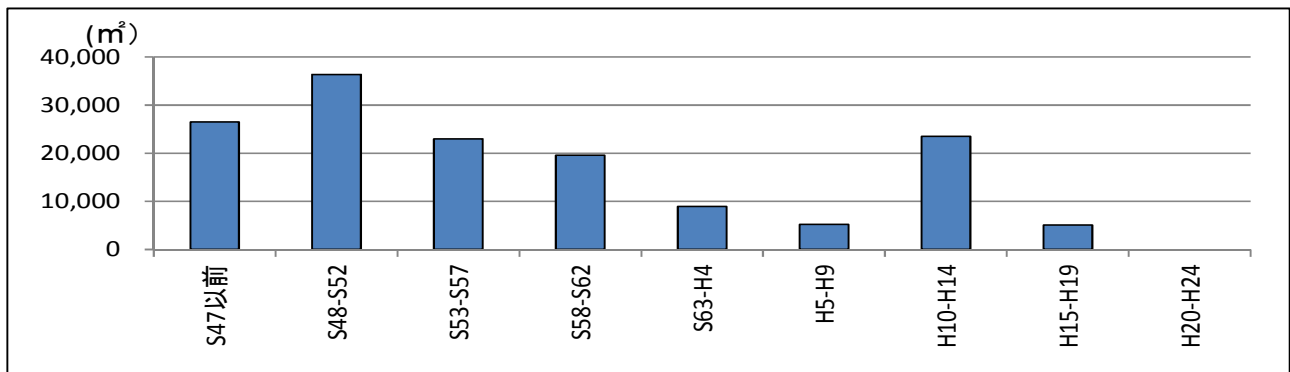
図表 地域別延床面積及び戸数



②利用状況

松江市の市営住宅49施設中27施設(総延床面積144,717m²のうち93,128m²(64.4%))が建築後30年を経過し、老朽化が進んでいます。

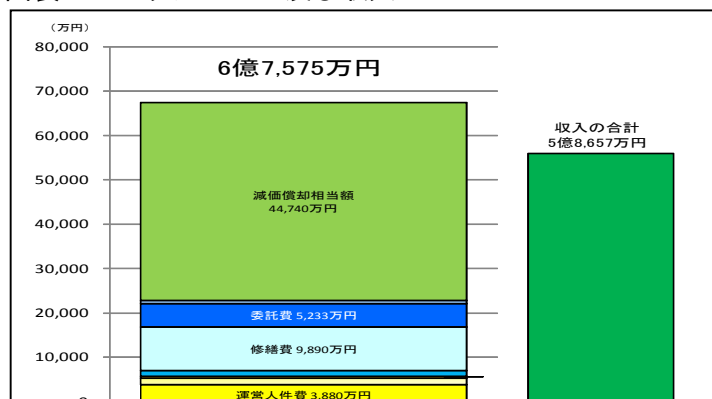
図表 建築年別延床面積



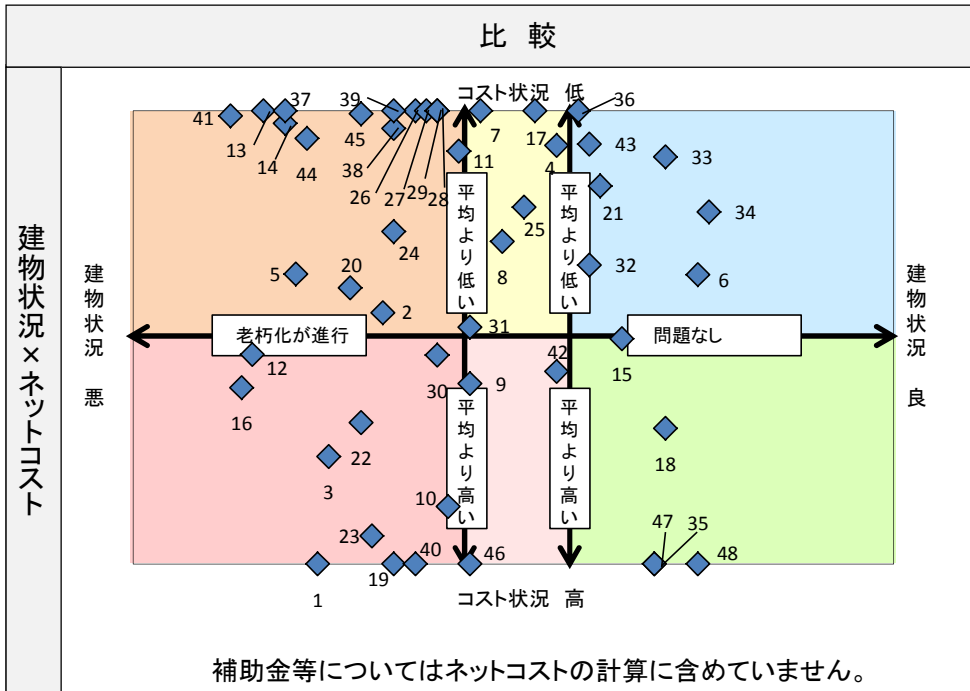
③コスト状況

年間トータルコストは、6億7,575万円であり、そのうち施設にかかるコストは1億7,066万円、事業運営にかかるコストは5,769万円、減価償却費相当額は4億4,740万円となっています。一方、収入は、5億8,657万円であり、8,918万円の財政負担が生じています。

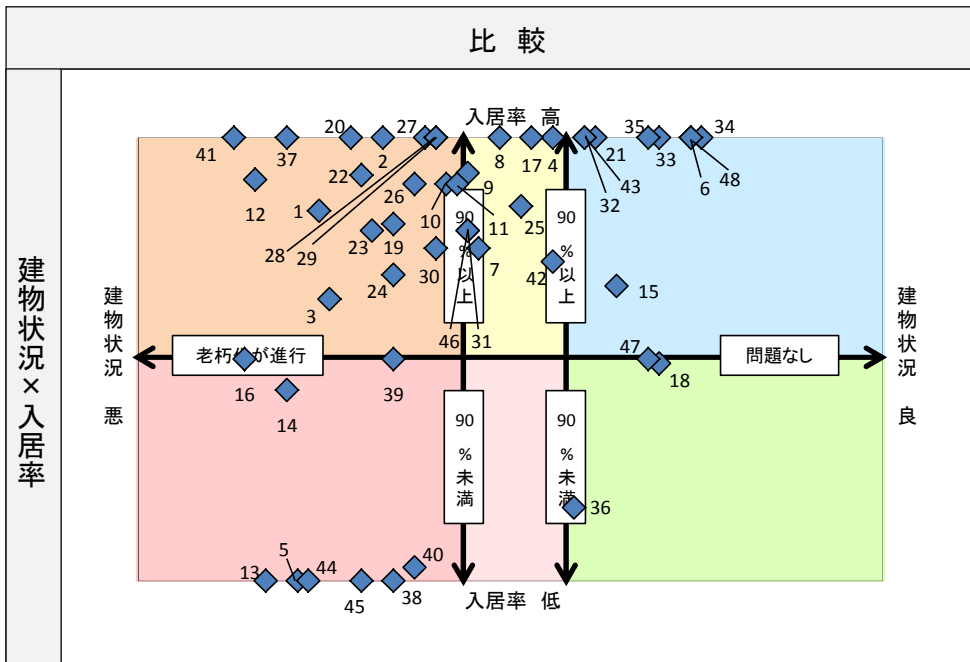
図表 トータルコスト及び収入



④現状比較



1	古志原アパート
2	宮の沖アパート
3	東朝日町アパート
4	緑が丘アパート
5	東生馬住宅
6	西の原アパート
7	長者原アパート
8	大庭12号アパート
9	大庭3～5号アパート
10	来美1.2アパート
11	来美3.4号アパート
12	井出平住宅
13	魚瀬・魚瀬第二住宅
14	客の尾住宅
15	椎の木ビレッジ
16	下の原住宅
17	宇賀アパート
18	小浜アパート
19	宝谷住宅・宝谷アパート
20	西尾町アパート
21	わかばアパート
22	中曽根アパート
23	矢田アパート
24	福原住宅
25	松尾アパート
26	比津が丘アパート
27	竹崎アパート
28	菅田アパート
29	富原アパート
30	旭が丘アパート
31	横町団地
32	池田団地
33	突道緑ヶ丘住宅
34	萩田団地
35	小金町住宅
36	チエリーハイツ
37	川原住宅
38	磯近住宅
39	湯田住宅
40	町後住宅
41	崎田住宅
42	中津住宅
43	奥中津住宅
44	竹の花上住宅
45	出雲郷町住宅
46	町西住宅
47	寺町プラザ
48	ウエステリア天神



⑤現状及び課題

- 入居率が高い施設が多いが、老朽化が進み地域特性によっては入居率が低い施設もある。
- 老朽化が進んでいる施設が多くなっている。

1 1. 供給処理施設

①施設概要

一般廃棄物の処理にあたっては、もやせるごみ等はエコクリーン松江で熔融処理、金属ごみ等はエコステーション松江で破碎・選別処理、資源ごみのうち、缶類、びん類、ペットボトルは西持田リサイクルプラザ、プラ製容器包装、紙製容器包装及び古紙等は川向リサイクルプラザで資源化処理されています。

埋立施設については、西持田最終処分場、不燃物処理場で処理されており、その他の施設は、埋立完了ないし、休止・管理状態となっています。

その他に生ごみの堆肥化プラント、し尿・浄化槽汚泥処理施設等が稼働しています。

なお、西持田最終処分場は市の直営、それ以外の施設については、管理部門は直営、運転維持管理部門は委託による運営となっています。

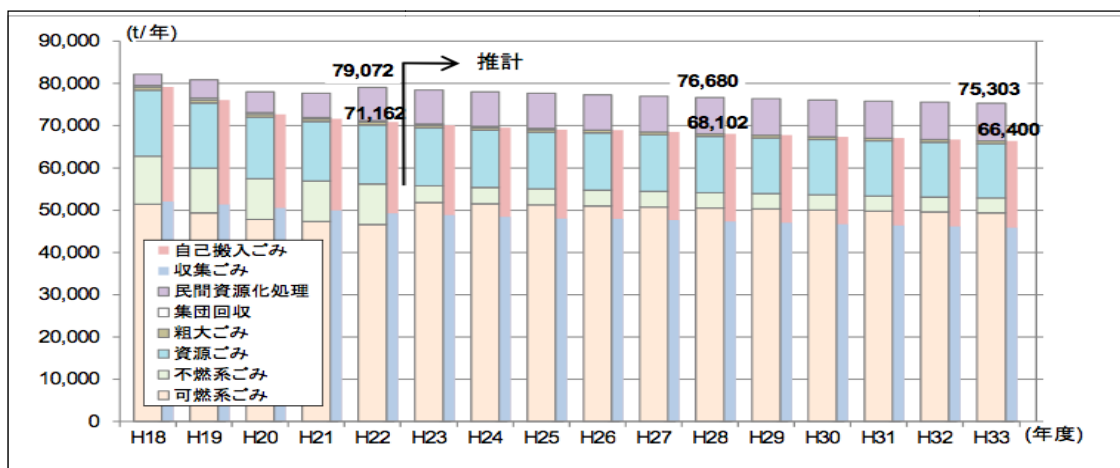
	No.	施設名	地域	延床面積 (㎡)	建築年	施設概要	建物構成	利用料金の概要
処理 施設	1	エコクリーン松江	鹿島	15,003.21	H23年	市内から発生する一般廃棄物(ごみ)の処理を行う施設で、工場棟・管理棟・計量棟・スラグストックヤード等からなる。また、隣地には緑地公園を併設し、テニスなど市民の憩いの場として活用している。	工場棟1・管理棟1・計量棟1・スラグストックヤード1	ごみ処理手数料 家庭系ごみ 400円/100kg 事業系ごみ1,500円/100kg
	2	エコステーション松江	橋北	5,659.18	H14年	家庭系の金属ごみ、金属製粗大ごみ、事業系の不燃ごみなどの選別・圧縮処理施設	工場・管理棟1、倉庫棟1	ごみ処理手数料 家庭系ごみ 400円/100kg 事業系ごみ1,500円/100kg
	3	西持田ポンプ場	橋北	26.66	S59年	エコクリーン松江及び西持田周辺の処理施設に上水を供給している。	ポンプ棟1	
	4	西持田リサイクルプラザ	橋北	1,784.19	H10年	容器包装(缶、ビン、ペットボトル)の選別・圧縮・梱包・保管を行い再資源化する施設	工場棟1、計量棟1	研修施設使用料 無料
	5	堆肥化プラント	橋南	64.00	H17年	生ごみの減量とリサイクルの推進を図り、生産した堆肥で育てた農産物を地元で消費し、身近な循環システムの構築を図るための施設	生ゴミ堆肥化プラント	
	6	川向クリーンセンター	橋南	2,779.00	H11年	宍道町を除く区域のし尿及び浄化槽汚泥を処理する。	工場・管理棟1	し尿処理手数料 58円/18ℓ
	7	川向リサイクルプラザ	橋南	7,003.81	H14年	容器包装(紙、プラスチック)及び古紙・古着の選別・圧縮・梱包・保管を行い再資源化する施設。啓発施設くりんびーすを併設する。	工場棟1	研修施設使用料 無料
埋立 施設	1	西持田不燃物処理場	橋北	789.67	S63年	漂着ごみや災害ごみを埋め立てている。	浸出液処理棟1	
	2	西持田最終処分場	橋北	484.53	H2年	エコクリーン松江の飛灰を埋め立てている。	浸出液処理棟1	

②ごみ発生量の状況

平成24年3月に策定した松江市一般廃棄物処理基本計画によると、平成22年度のごみの発生量は7万9千t、民間資源化処理等を除くごみ総排出量は7万1千tであり、5%削減を目標とする平成28年度では、ごみの発生量は7万7千t、民間資源化処理等を除くごみ総排出量は6万8千tと見込んでいます。

しかしながら、平成25年度の実績では、ごみの発生量は8万t、民間資源化処理等を除くごみ総排出量は7万4千tとなり、いずれも対前年度比で増加しています。

図表 ごみ発生量の将来見込み（単純推計）

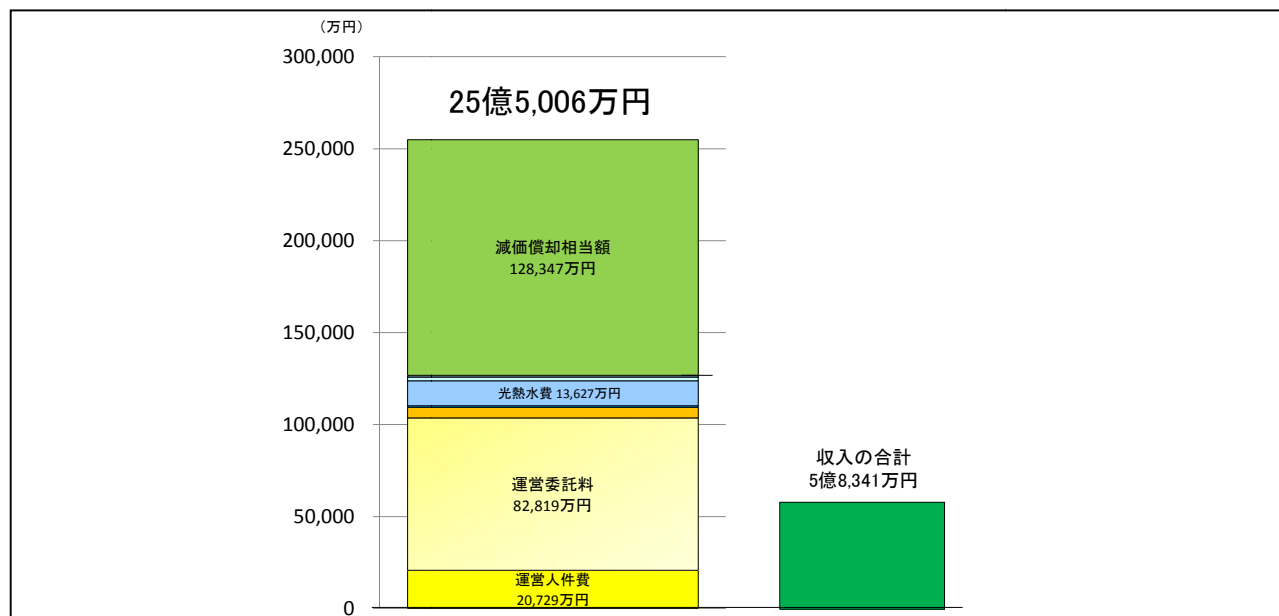


③コスト状況

トータルコストは、25億5,006万円となっており、そのうち、運営にかかるコストが約43%となっています。また、減価償却費が約50%となっています。施設利用料等収入は5億8,341万円となっており、トータルコストの約23%をカバーしています。

家庭系ごみは400円/100kg、事業系ごみは1,500円/100kgの自己搬入手数料を徴収しています。また、家庭系ごみの計画収集に使う袋は、平成17年の市町村合併時に有料化されています。

図表 トータルコスト及び収入



④現状及び課題

- 人口が減少傾向にあるにもかかわらず、ごみの総排出量は平成23年度から増加に転じ、7.3万t前後で推移している。今後、ごみの処理量や災害時に発生するごみの処理等について検討したうえで、適切なコスト管理や施設・体制の見直しが必要となる。